
三田市
ケアマネジャー調査
報告書

令和8年5月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 留意点	1
2. ケアマネジャー自身のことについて	2
(1) 性別・年齢	2
(2) ケアマネジャーとしてのスキル	3
3. 利用者の状況について	5
(1) 担当している利用者数	5
(2) 生活の維持が困難な利用者	9
(3) 利用者からの苦情や相談	11
(4) 虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例	12
(5) 業務の中で負担に感じていること	14
4. サービス・社会資源について	15
(1) ケアプラン作成時の困りごと	15
(2) 圏域ごとのサービス・社会資源の状況	16
(3) 介護保険サービスの地域間格差	35
(4) インフォーマルなサービスの活用	37
(5) 利用者が知りたいと感じていること	40
(6) 認知症高齢者への支援	41
(7) ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組状況	42
(8) 利用者にとってわかりやすい情報の入手方法	43
(9) 市の高齢者支援について	44
5. 各所との連携について	45
(1) わからないことや困ったこと	45
(2) 各所との連携	47
① 医療との連携	47
② 地域包括支援センターとの連携	48
③ 市との連携	49

1. 調査概要

(1) 調査目的

この調査は、令和9年度から令和11年度までの「三田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（いきいき安心プラン21）」の策定を行うにあたって、ケアマネジャー本人や担当されている要介護者を取り巻く現状について把握するために実施しました。

(2) 調査の実施について

調査種類	ケアマネジャー調査
対象者	市内の居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護に所属するケアマネジャー103名
実施期間	令和8年2月2日（月）～2月26日（木）
実施方法	郵送配布、WEB回収
回収状況	配布数：103件 有効回収数：70件 有効回答率：68.0%

(3) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「N」は「Number」の略で、比率算出の母数です。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer)、3LA (3 Limited Answer)、5LA (5 Limited Answer)と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。

2. ケアマネジャー自身のことについて

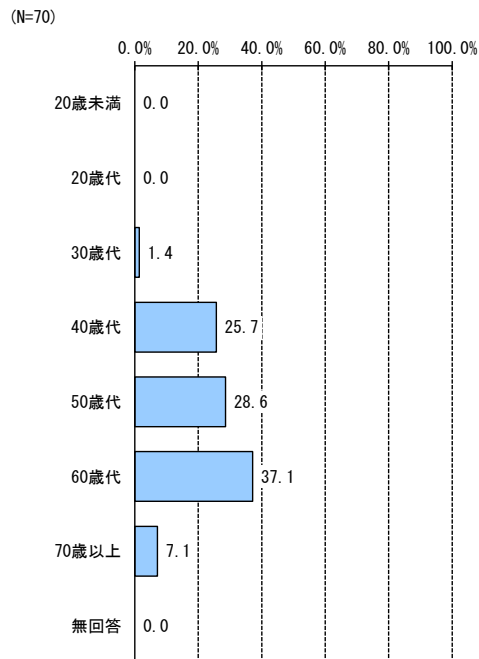
(1) 性別・年齢

●問2 あなたの年齢は、次のうちどれにあてはまりますか。（1つを選択）

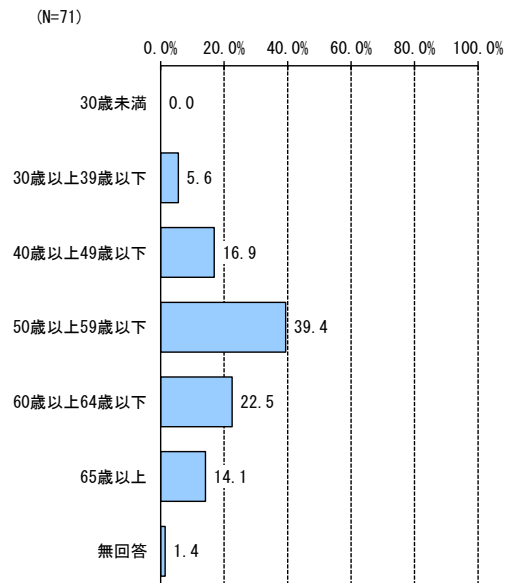
○ 年齢について、「60歳代」が37.1%で最も多く、次いで「50歳代」が28.6%、「40歳代」が25.7%となっています。

【年齢】

〔今回調査（R8年度）〕



〔前回調査（R5年度）〕



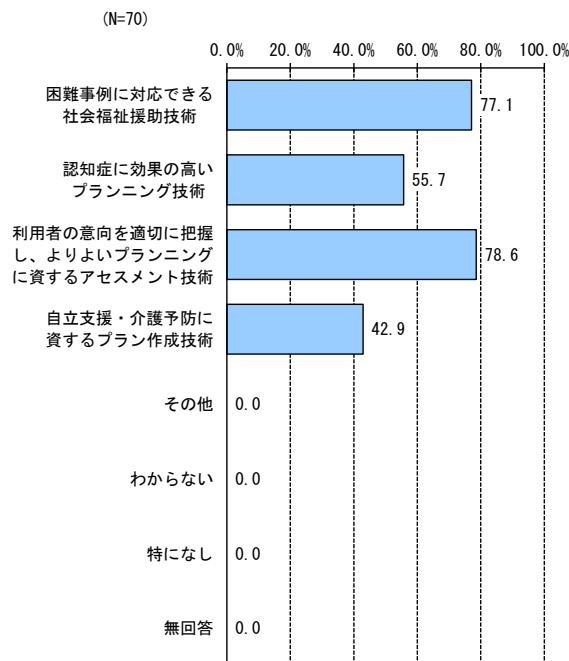
(2) ケアマネジャーとしてのスキル

- 問3 あなたの日頃の業務の中で頻繁に必要とされ、向上しなければならないと感じている「専門的技術」を次の中から選んでください。(あてはまるものすべてを選択)

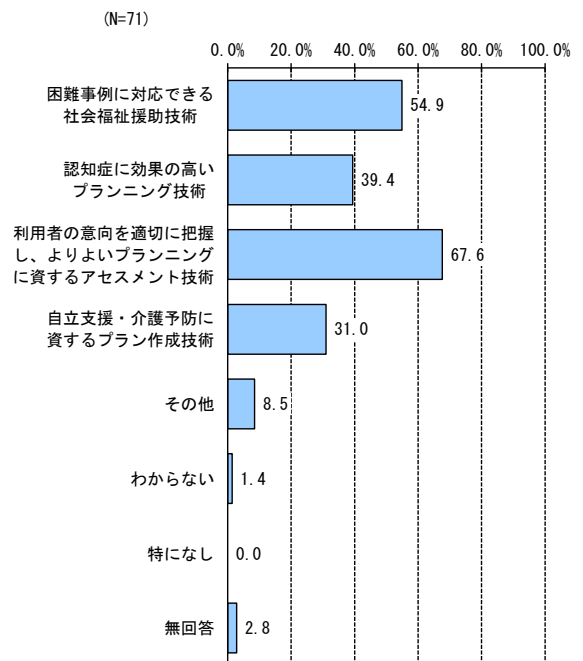
- 向上する必要がある専門的技術について、「利用者の意向を適切に把握し、よりよいプランニングに資するアセスメント技術」が78.6%で最も多く、次いで「困難事例に対応できる社会福祉援助技術」が77.1%、「認知症に効果の高いプランニング技術」が55.7%となっています。
- 前回調査と比べると、「困難事例に対応できる社会福祉援助技術」が22.2ポイント、「認知症に効果の高いプランニング技術」が16.3ポイント、「自立支援・介護予防に資するプラン作成技術」が11.9ポイント、「利用者の意向を適切に把握し、よりよいプランニングに資するアセスメント技術」が11.0ポイント多くなっています。

【向上する必要がある専門的技術 (MA)】

〔今回調査 (R8 年度)〕



〔前回調査 (R5 年度)〕

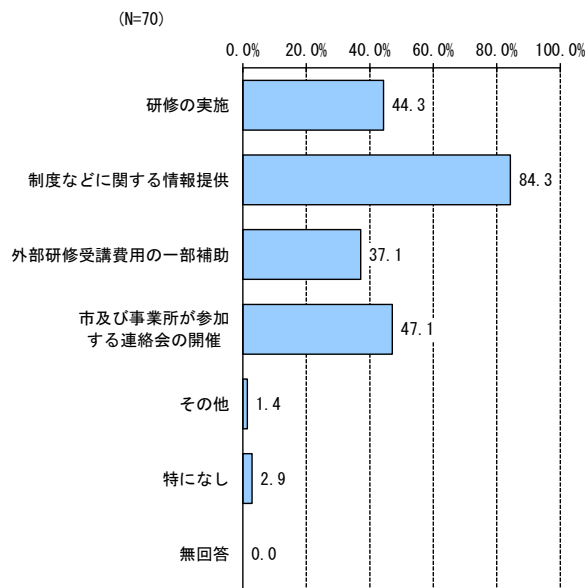


- 問 4 ケアマネジャーの「専門的技術」の向上のために市に期待する役割を次の中から選んでください。（3つまで選択）

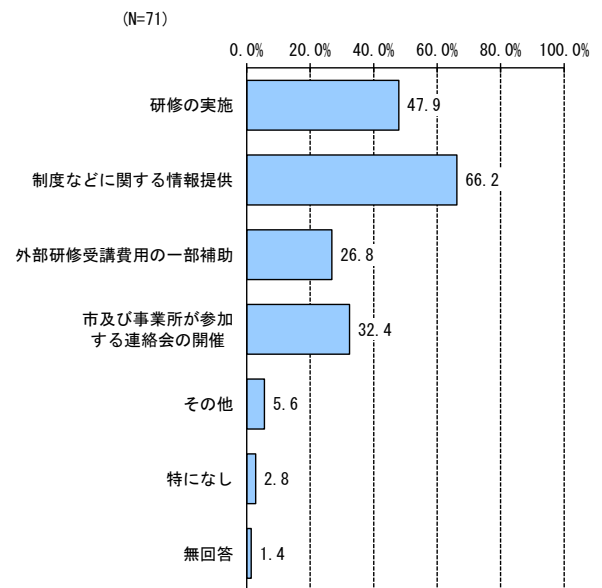
- 「専門的技術」の向上のために市に期待する役割について、「制度などに関する情報提供」が 84.3%で最も多く、次いで「市及び事業所が参加する連絡会の開催」が 47.1%、「研修の実施」が 44.3%となっています。
- 前回調査と比べると、「制度などに関する情報提供」が 18.1 ポイント、「市及び事業所が参加する連絡会の開催」が 14.7 ポイント、「外部研修受講費用の一部補助」が 10.3 ポイント多くなっています。

【「専門的技術」の向上のために市に期待する役割（3LA）】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



3. 利用者の状況について

(1) 担当している利用者数

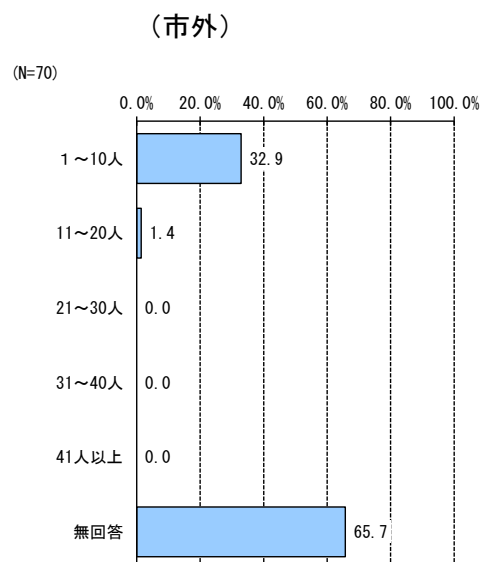
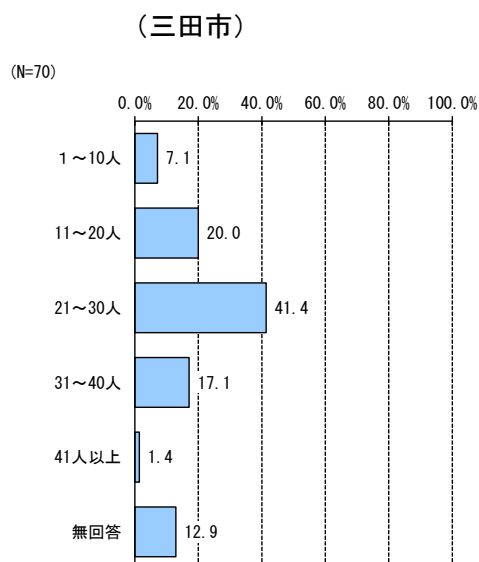
- 問5 あなたが担当している利用者数などについて伺います。担当する利用者がいない場合は「0」と入力してください。(市内と市外についてそれぞれ人数を入力) (令和8年1月1日時点)

<介護サービス計画>

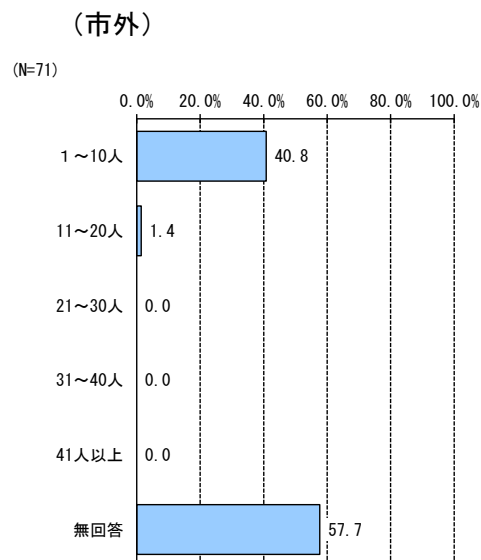
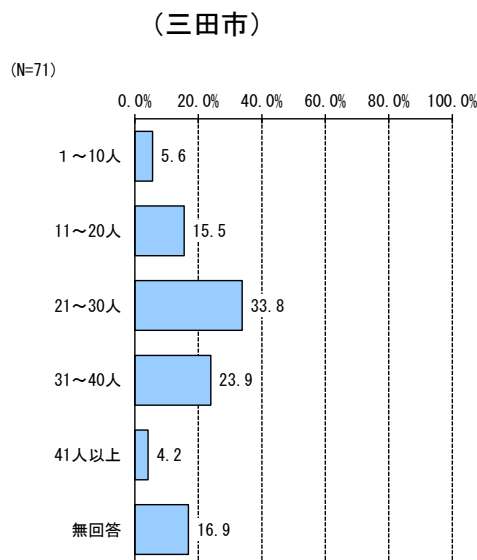
- 介護サービス計画の担当利用者数について、市内では「21～30人」が41.4%で最も多く、次いで「11～20人」が20.0%、「31～40人」が17.1%となっています。市外では、「1～10人」が32.9%で最も多く、次いで「11～20人」が1.4%となっています。
- 前回調査と比べると、市内では、「21～30人」が多く、「31～40人」が少なくなっています。市外では、「1～10人」が少なくなっています。

【担当利用者数 介護サービス計画】

[今回調査 (R8 年度)]



[前回調査 (R5 年度)]

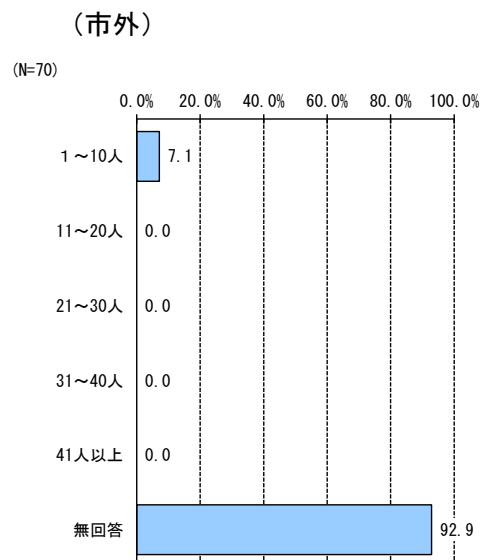
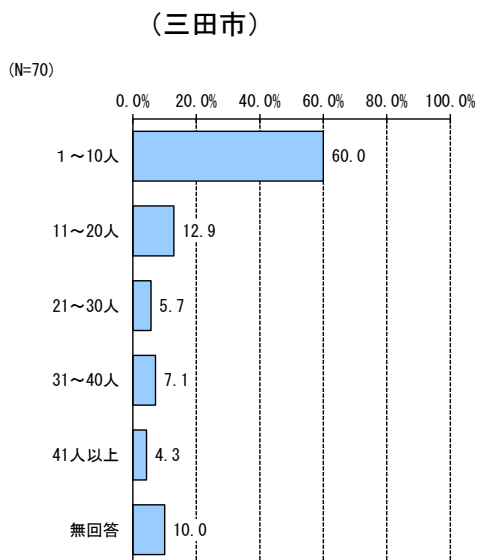


<介護予防サービス計画（介護予防支援）>

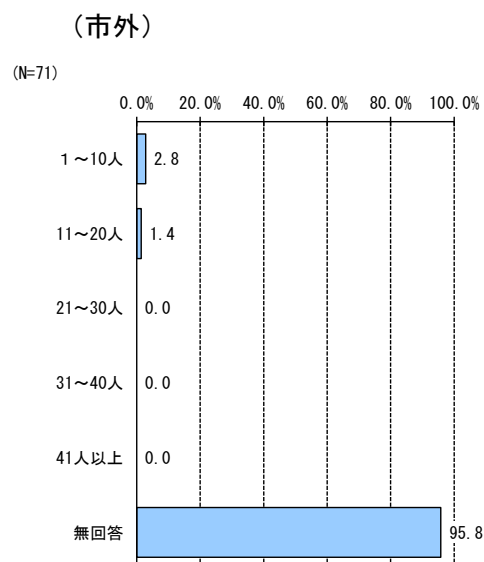
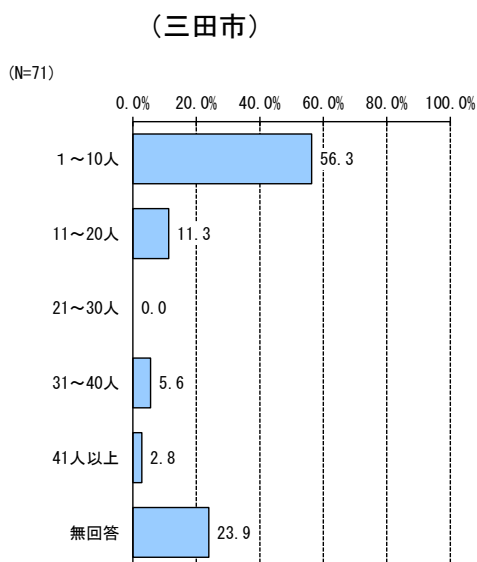
- 介護予防サービス計画の担当利用者数について、市内では、「1～10人」が60.0%で最も多く、次いで「11～20人」が12.9%、「31～40人」が7.1%となっています。市外では、「1～10人」が7.1%で最も多くなっています。
- 前回調査と比べると、市内では、全ての担当利用者数の階層で多くなっています。

【担当利用者数 介護予防サービス計画】

[今回調査（R8 年度）]



[前回調査（R5 年度）]

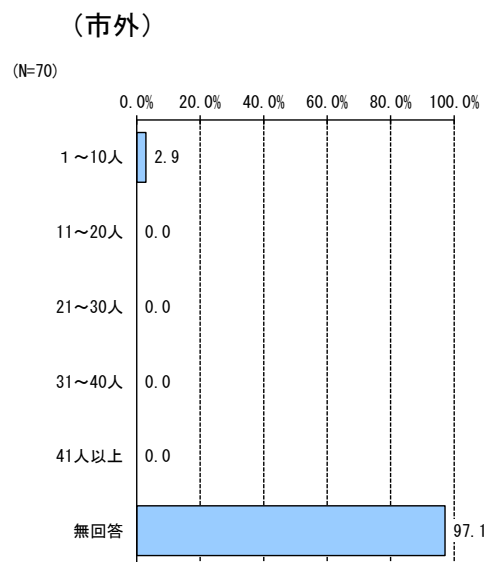
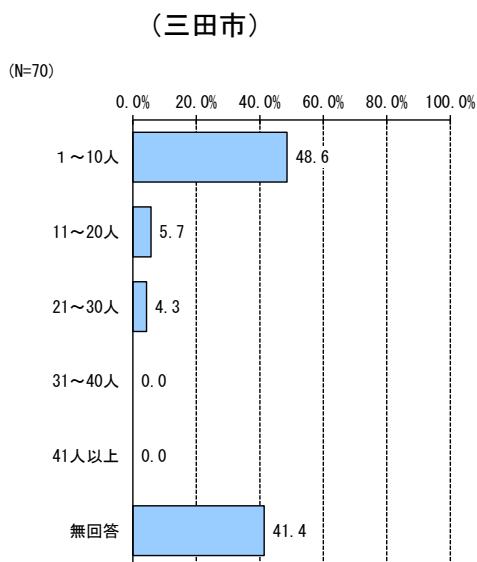


<介護予防ケアマネジメント（総合事業）>

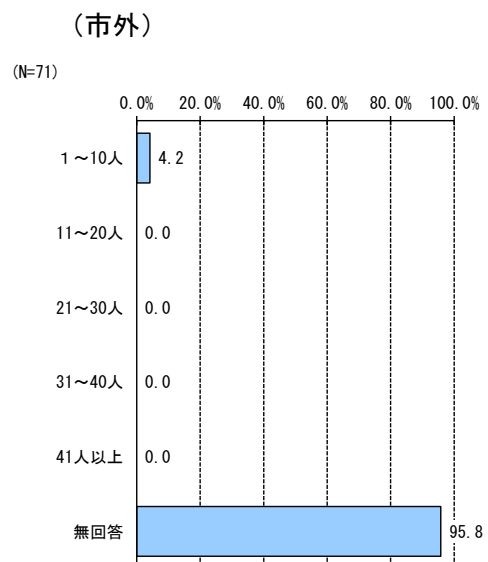
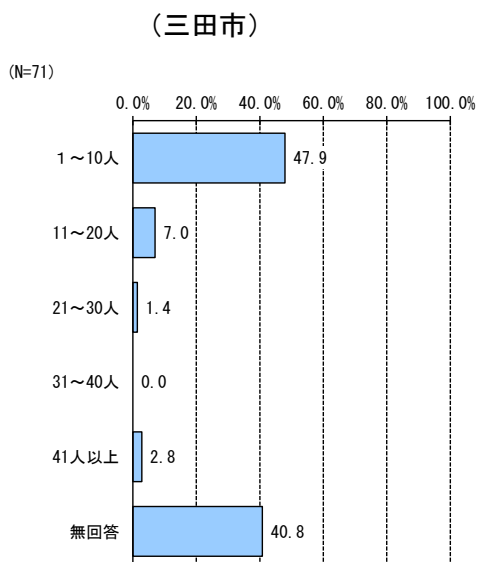
- 介護予防ケアマネジメントの担当利用者数について、市内では、「1～10人」が48.6%で最も多く、次いで「11～20人」が5.7%、「21～30人」が4.3%となっています。市外では、「1～10人」が2.9%で最も多くなっています。

【担当利用者数 介護予防ケアマネジメント】

[今回調査（R8年度）]



[前回調査（R5年度）]

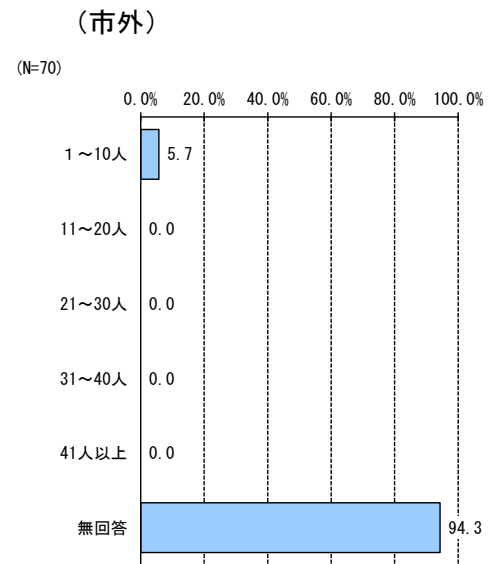
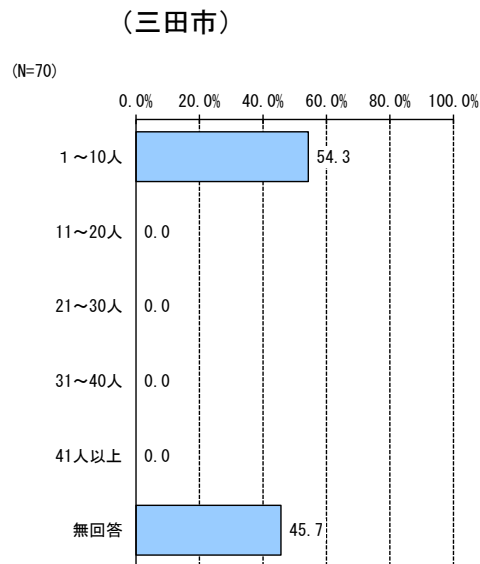


<入院等の理由により、計画策定を保留中>

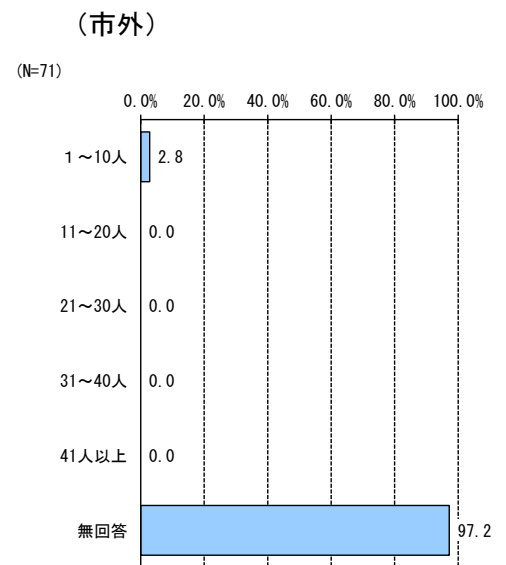
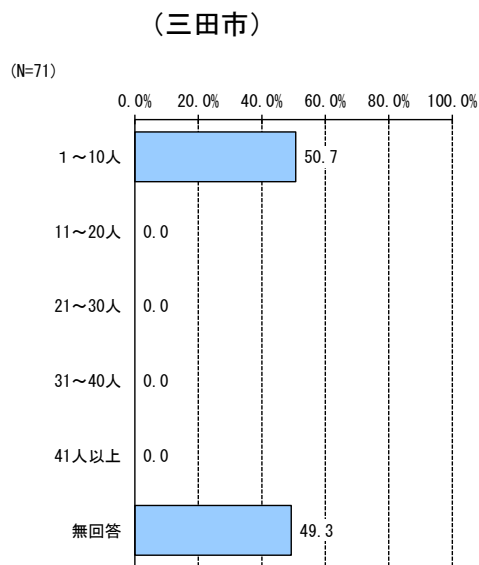
- 計画策定保留中の担当利用者数について、市内では、「1～10人」が54.3%で最も多くなっています。市外では、「1～10人」が5.7%で最も多くなっています。

【担当利用者数 計画策定保留中】

[今回調査 (R8 年度)]



[前回調査 (R5 年度)]

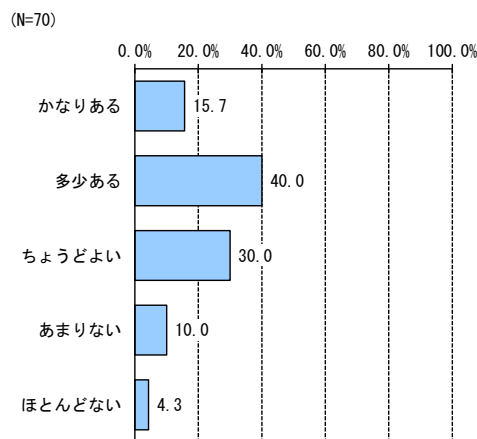


- 問6 あなたが担当している利用者数について、負担感（多すぎると感じること）がどの程度ありますか。（1つを選択）

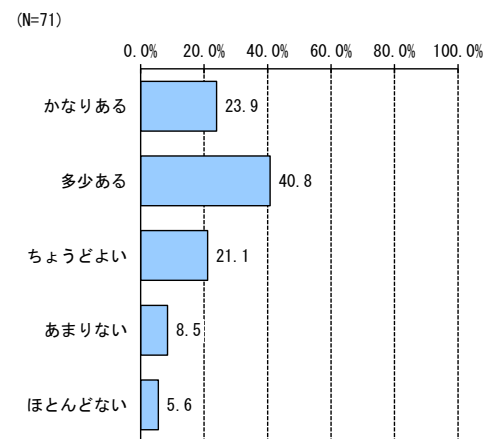
- 利用者数の負担感について、「多少ある」が40.0%で最も多く、次いで「ちょうどよい」が30.0%、「かなりある」が15.7%となっています。「かなりある」「多少ある」を合わせた“負担感がある”は55.7%となっています。
- 前回調査と比べると、「ちょうどよい」が8.9ポイント多く、「かなりある」が8.2ポイント少なくなっています。

【利用者数の負担感】

〔今回調査（R8年度）〕



〔前回調査（R5年度）〕



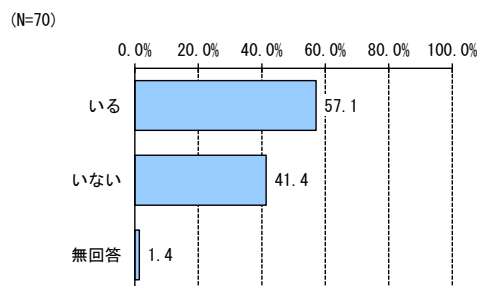
(2) 生活の維持が困難な利用者

- 問7 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者はいますか。（1つを選択）

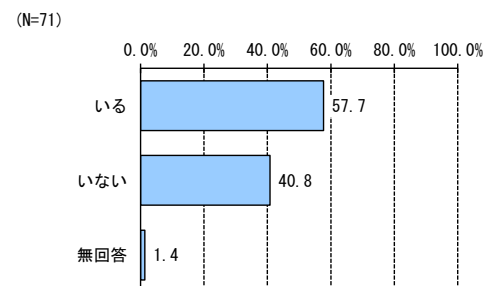
- 生活の維持が困難な利用者について、「いる」が57.1%、「いない」が41.4%となっています。

【生活の維持が困難な利用者】

〔今回調査（R8年度）〕



〔前回調査（R5年度）〕



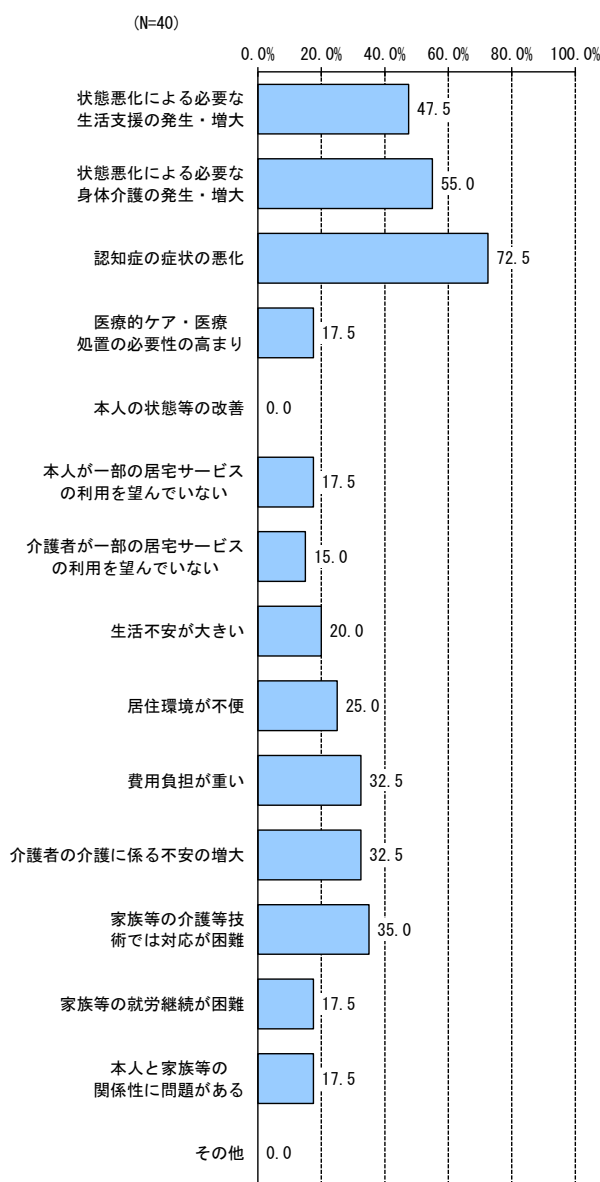
●問 7-1 問 7で「1. いる」を選んだ方にお伺いします。

生活が難しくなっている理由は何ですか。(あてはまるものすべてを選択)

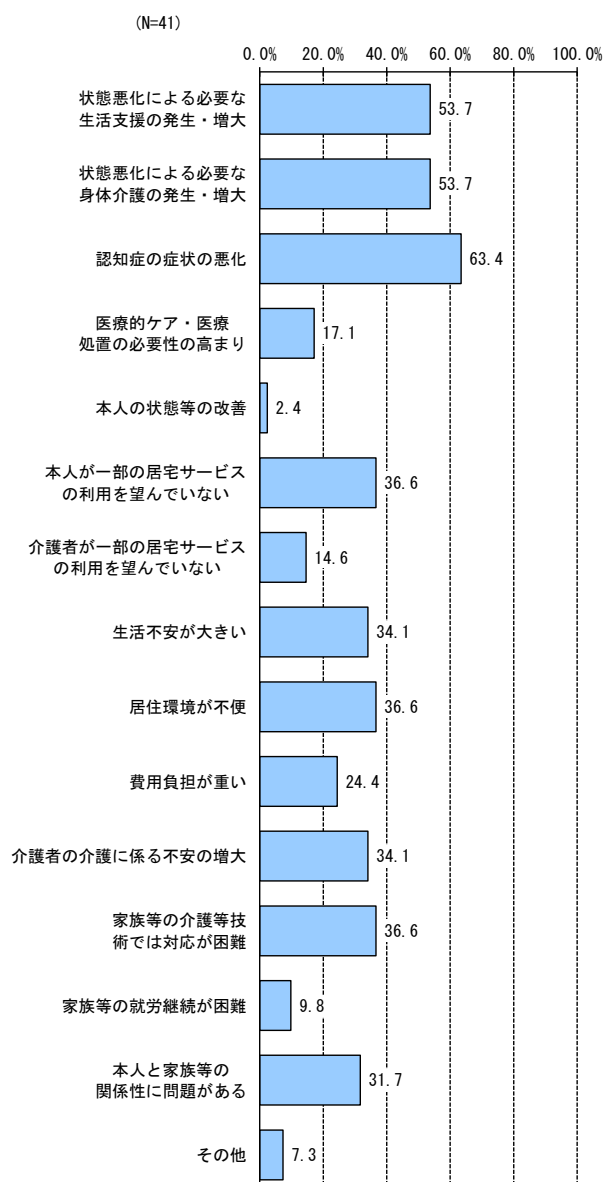
- 生活の維持が困難な理由について、「認知症の症状の悪化」が 72.5%で最も多く、次いで「状態悪化による必要な身体介護の発生・増大」が 55.0%、「状態悪化による必要な生活支援の発生・増大」が 47.5%となっています。
- 前回調査と比べると、「本人が一部の居宅サービスの利用を望んでいない」が 19.1 ポイント、「本人と家族等の関係性に問題がある」が 14.2 ポイント、「生活不安が大きい」が 14.1 ポイント、「居住環境が不便」が 11.6 ポイント少なくなっています。

【生活の維持が困難な理由 (MA)】

〔今回調査 (R8 年度)〕



〔前回調査 (R5 年度)〕

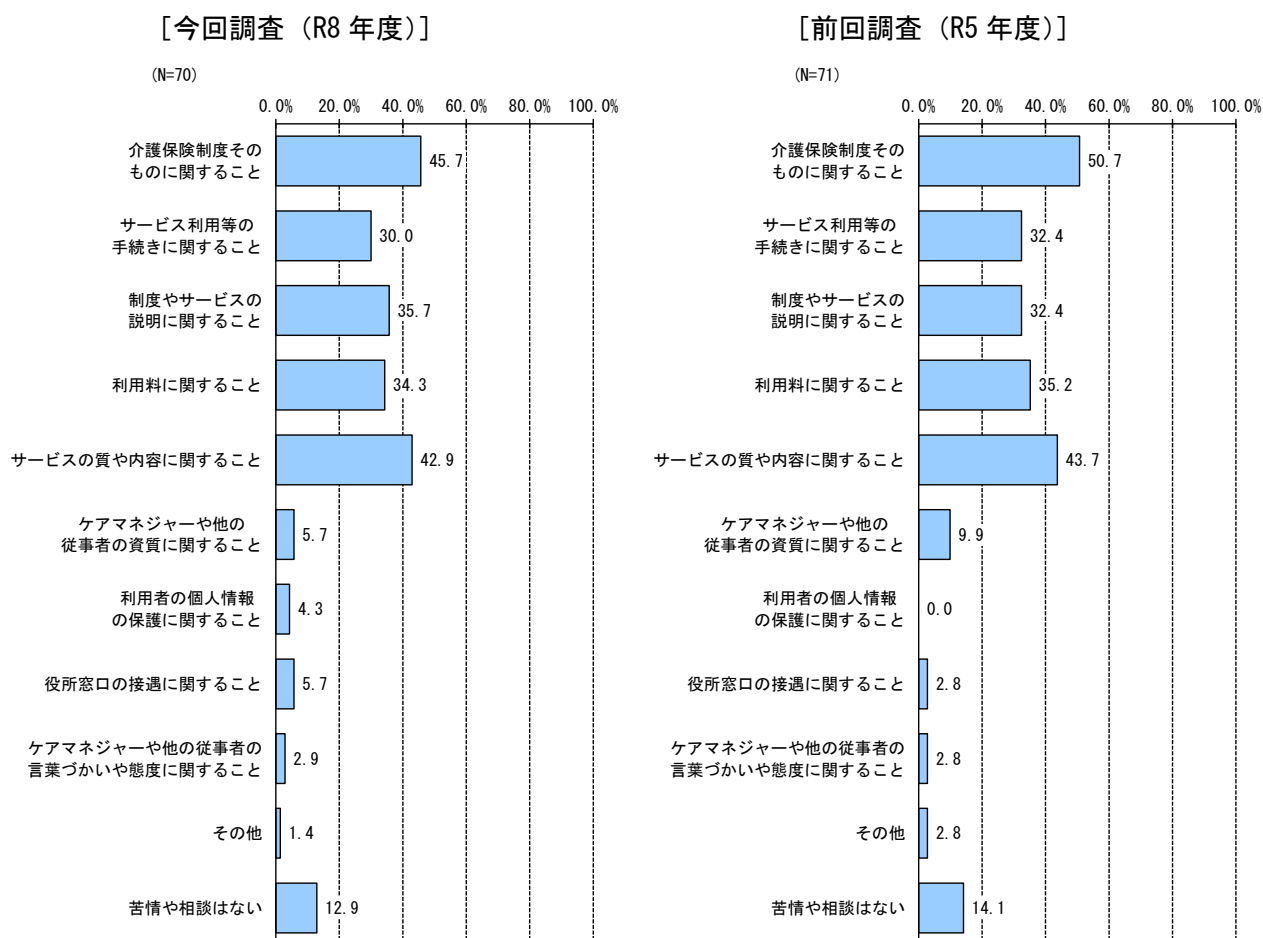


(3) 利用者からの苦情や相談

- 問 8 利用者や家族からあげられる苦情や相談の内容としては、どのようなものがありますか。(5つまで選択)

- 利用者や家族からの苦情や相談について、「介護保険制度そのものに関すること」が 45.7%で最も多く、次いで「サービスの質や内容に関すること」が 42.9%、「制度やサービスの説明に関すること」が 35.7%となっています。
- 前回調査と比べると、「介護保険制度そのものに関すること」が 5.0 ポイント少なくなっています。

【利用者や家族からの苦情や相談 (5LA)】



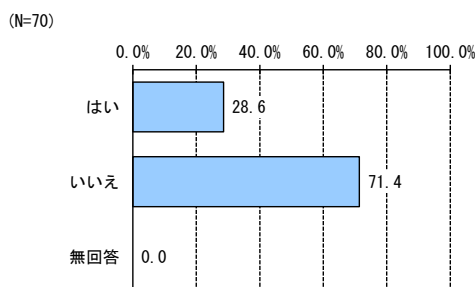
(4) 虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例

- 問 9 あなたがこの一年間に担当した中で、虐待又は虐待の疑いがあると思われた三田市の利用者はいましたか。(1つを選択)

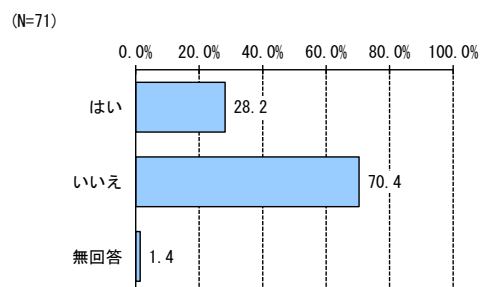
○ 虐待又は虐待の疑いがあると思われた利用者の有無について、「はい」が28.6%、「いいえ」が71.4%となっています。

【虐待又は虐待の疑いがあると思われた利用者の有無】

〔今回調査 (R8 年度)〕



〔前回調査 (R5 年度)〕



- 問 9-1 問 9で「1. はい」を選んだ方にお伺いします。

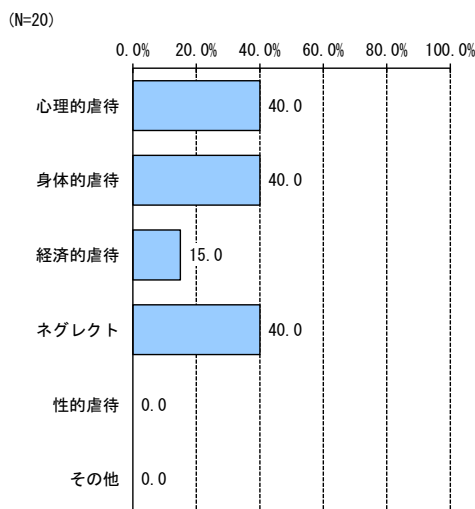
虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例はどのような種別でしたか。

(あてはまるものすべてを選択)

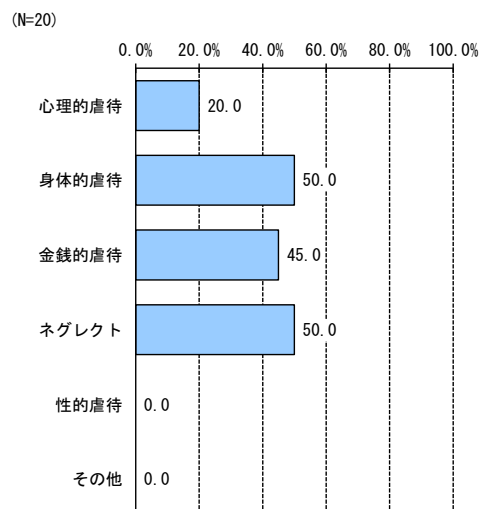
- 虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例について、「心理的虐待」「身体的虐待」「ネグレクト」が40.0%で最も多く、次いで「経済的虐待」が15.0%となっています。
- 前回調査と比べると、「心理的虐待」が20.0ポイント多く、「経済的虐待」が30.0ポイント少なくなっています。

【虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例 (MA)】

〔今回調査 (R8 年度)〕



〔前回調査 (R5 年度)〕



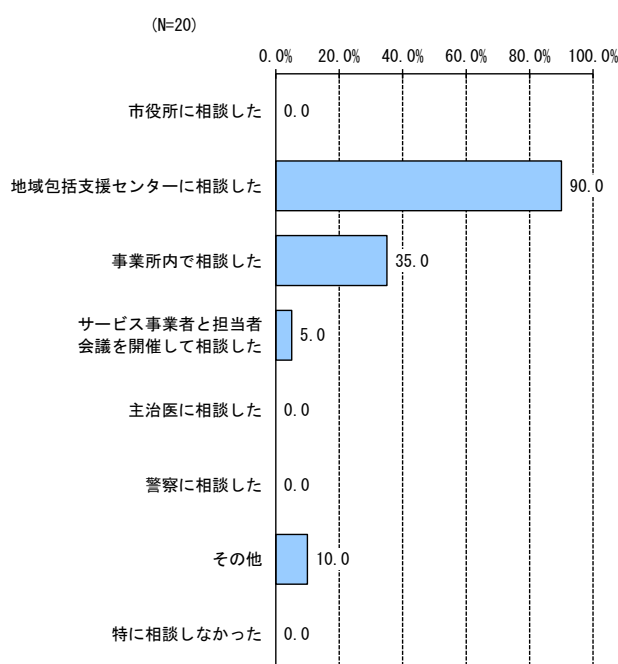
●問 9-2 問 9 で「1. はい」を選んだ方にお伺いします。

その対応として、どこに相談しましたか。(あてはまるものすべてを選択)

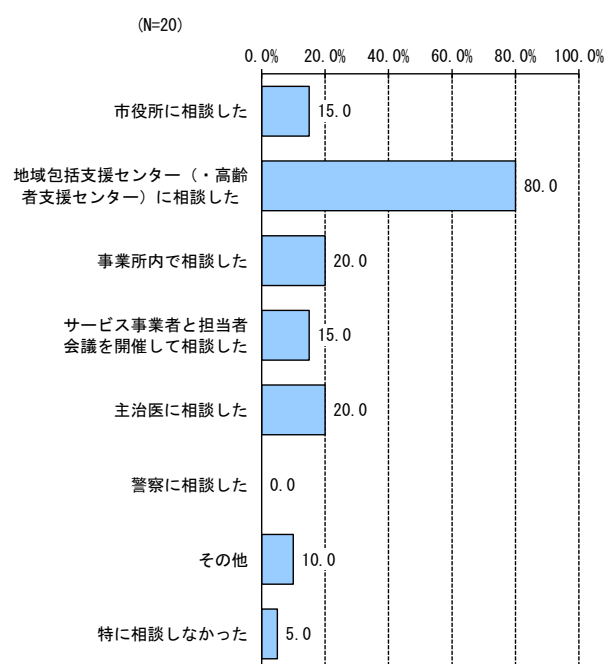
- 虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例の相談先について、「地域包括支援センターに相談した」が 90.0%で最も多く、次いで「事業所内で相談した」が 35.0%、「その他」が 10.0%となっています。
- 前回調査と比べると、「事業所内で相談した」が 15.0 ポイント多く、「主治医に相談した」が 20.0 ポイント、「市役所に相談した」が 15.0 ポイント少なくなっています。

【虐待又は虐待の疑いがあると思われた事例の相談先 (MA)】

〔今回調査 (R8 年度)〕



〔前回調査 (R5 年度)〕

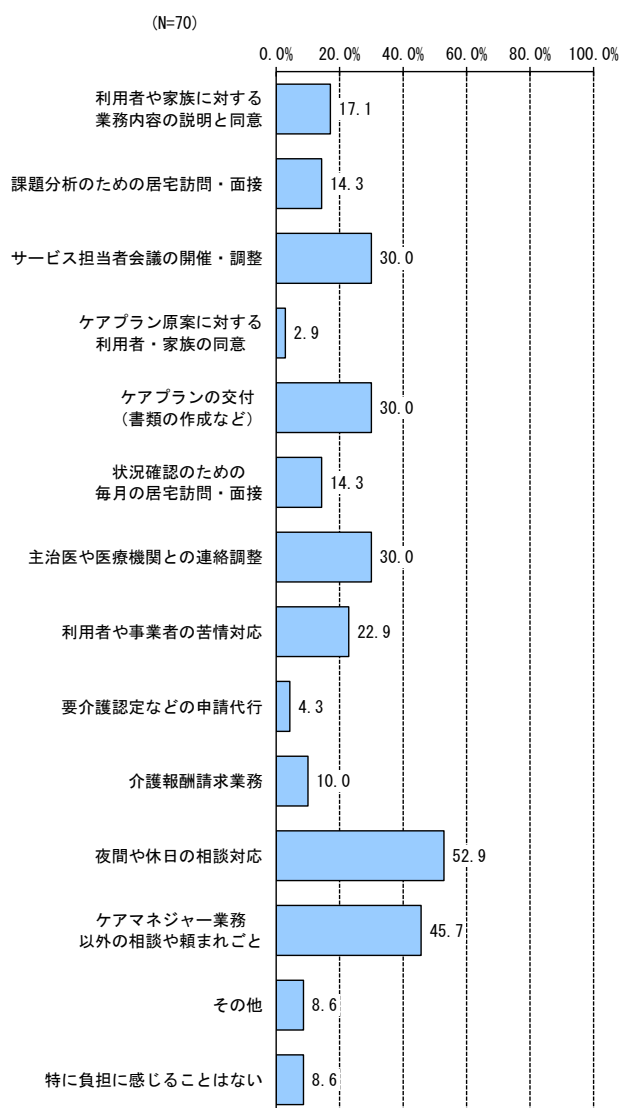


(5) 業務の中で負担に感じていること

- 問 10 ケアマネジャー業務の中で、どのようなことを負担に感じていますか。
(あてはまるものすべてを選択)

○ 業務の中で負担に感じていることについて、「夜間や休日の相談対応」が 52.9%で最も多く、次いで「ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと」が 45.7%、「サービス担当者会議の開催・調整」「ケアプランの交付（書類の作成など）」「主治医や医療機関との連絡調整」が 30.0%となっています。

【業務の中で負担に感じていること（MA）】



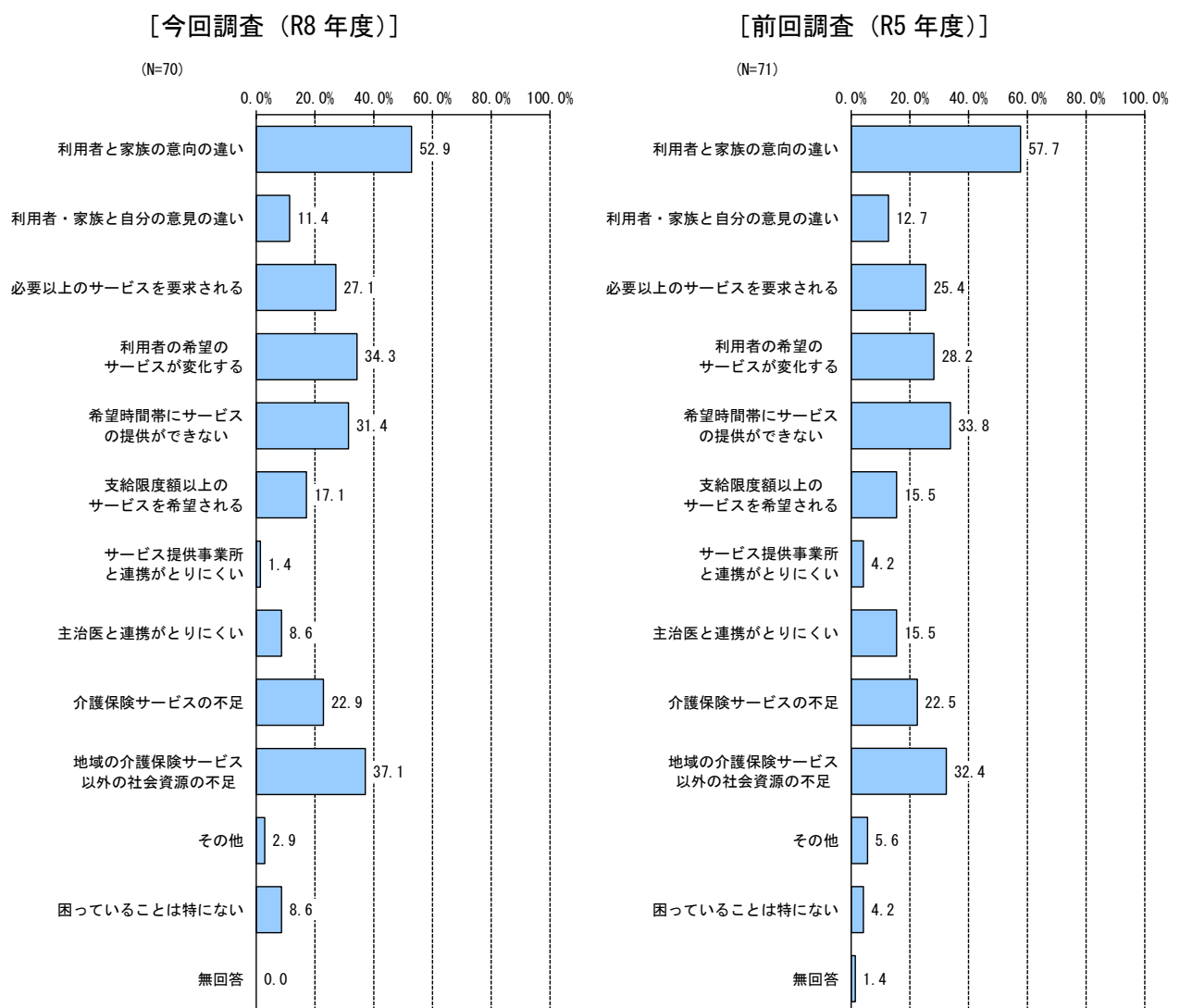
4. サービス・社会資源について

(1) ケアプラン作成時の困りごと

- 問 11 あなたはケアプランを作成するうえで困ることはありますか。
(あてはまるものすべてを選択)

- ケアプラン作成時の困りごとについて、「利用者と家族の意向の違い」が52.9%で最も多く、次いで「地域の介護保険サービス以外の社会資源の不足」が37.1%、「利用者の希望のサービスが変化する」が34.3%となっています。
- 前回調査と比べると、「利用者の希望のサービスが変化する」が6.1ポイント多く、「主治医と連携がとりにくい」が6.9ポイント少なくなっています。

【ケアプラン作成時の困りごと (MA)】



(2) 圏域ごとのサービス・社会資源の状況

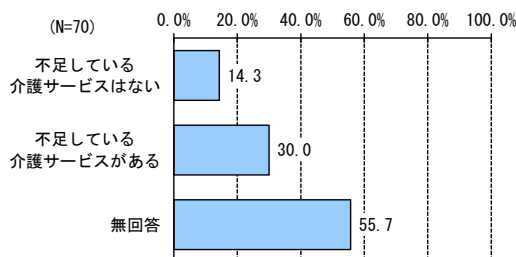
- 問 12 三田市に不足していると思われるサービスは何ですか。圏域ごとに下記から選び、番号を入力してください。(各圏域3つまで)
- 問 13 介護保険サービス以外に充実が必要なサービスは何ですか。圏域ごとに下記から選び、番号をご入力ください。(各圏域3つまで)

<三田・三輪南圏域>

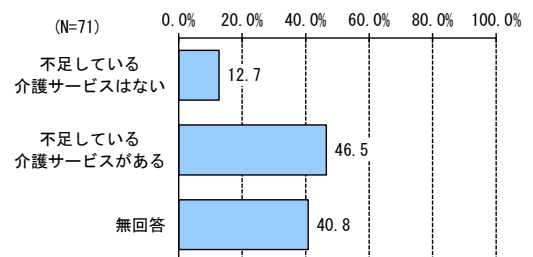
- 三田・三輪南圏域では、「不足している介護サービスはない」が14.3%、「不足している介護サービスがある」が30.0%となっています。
- 不足しているサービスは、「訪問介護」「訪問入浴介護」が11.4%で最も多く、「通所リハビリテーション」が5.7%となっています。前回調査と比べると、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が11.3ポイント、「夜間対応型訪問介護」「看護小規模多機能型居宅介護」が8.4ポイント、「訪問入浴介護」が8.3ポイント、「居宅介護支援」が5.6ポイント少なくなっています。

【介護サービス】

〔今回調査（R8年度）〕



〔前回調査（R5年度）〕



(N=70)

介護サービス	件	3LA%
訪問介護	8	11.4
訪問入浴介護	8	11.4
通所リハビリテーション	4	5.7
短期入所生活介護・短期入所療養介護	3	4.3
介護老人福祉施設	3	4.3
介護老人保健施設	3	4.3
特定施設入居者生活介護	2	2.9
夜間対応型訪問介護	2	2.9
看護小規模多機能型居宅介護	2	2.9
訪問看護	1	1.4
訪問リハビリテーション	1	1.4
通所介護	1	1.4
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	1.4

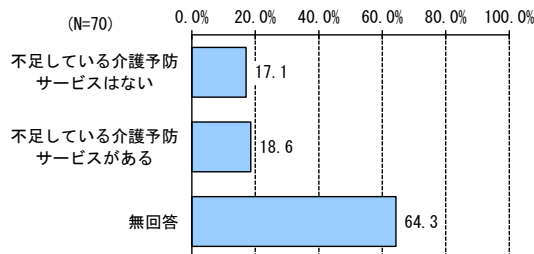
(N=71)

介護サービス	件	3LA%
訪問入浴介護	14	19.7
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	12.7
夜間対応型訪問介護	8	11.3
看護小規模多機能型居宅介護	8	11.3
訪問介護	7	9.9
居宅介護支援	4	5.6
短期入所生活介護・短期入所療養介護	3	4.2
認知症対応型通所介護	3	4.2
訪問リハビリテーション	2	2.8
特定施設入居者生活介護	2	2.8
小規模多機能型居宅介護	2	2.8
介護老人保健施設	2	2.8
居宅療養管理指導	1	1.4
通所介護	1	1.4
通所リハビリテーション	1	1.4

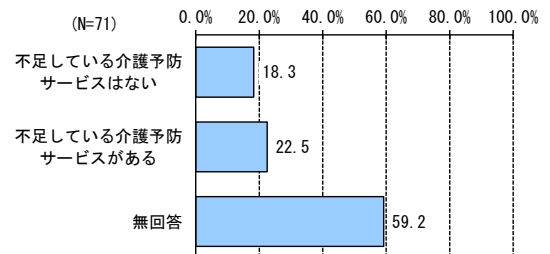
- 三田・三輪南圏域では、「不足している介護予防サービスはない」が17.1%、「不足している介護予防サービスがある」が18.6%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防認知症対応型通所介護」が8.6%で最も多く、「介護予防通所リハビリテーション」「介護予防小規模多機能型居宅介護」が5.7%となっています。前回調査と比べると、「介護予防支援」が7.1ポイント少なくなっています。

【介護予防サービス】

【今回調査（R8 年度）】



【前回調査（R5 年度）】



(N=70)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防認知症対応型通所介護	6	8.6
介護予防通所リハビリテーション	4	5.7
介護予防小規模多機能型居宅介護	4	5.7
介護予防認知症対応型共同生活介護	3	4.3
介護予防訪問入浴介護	2	2.9
介護予防訪問リハビリテーション	2	2.9
介護予防特定施設入居者生活介護	2	2.9
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	1	1.4
介護予防支援	1	1.4

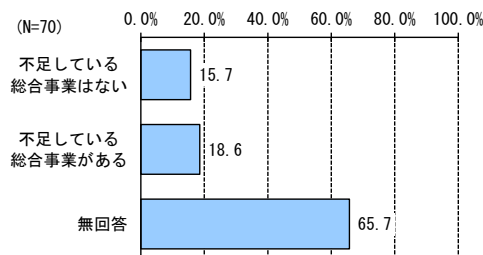
(N=71)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防支援	6	8.5
介護予防認知症対応型通所介護	4	5.6
介護予防訪問入浴介護	3	4.2
介護予防小規模多機能型居宅介護	3	4.2
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	2	2.8
介護予防特定施設入居者生活介護	2	2.8
介護予防訪問リハビリテーション	1	1.4
介護予防通所リハビリテーション	1	1.4
介護予防住宅改修	1	1.4
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	1.4

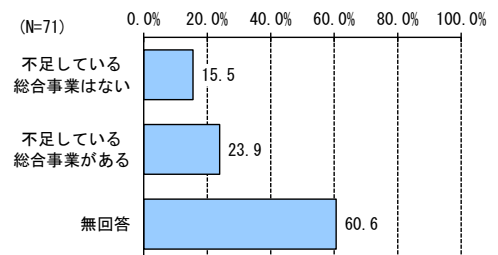
- 三田・三輪南圏域では、「不足している総合事業はない」が15.7%、「不足している総合事業がある」が18.6%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）」「訪問型サービス・活動B（住民主体）」「通所型サービス・活動B（住民主体）」が7.1%、「通所型サービス・活動A（多様な主体）」が5.7%となっています。

【総合事業】

【今回調査（R8 年度）】



【前回調査（R5 年度）】



(N=70)

総合事業	件	3LA%
介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）	5	7.1
訪問型サービス・活動B（住民主体）	5	7.1
通所型サービス・活動B（住民主体）	5	7.1
通所型サービス・活動A（多様な主体）	4	5.7
通所型サービス・活動C（短期集中型）	3	4.3
訪問型サービス・活動A（多様な主体）	2	2.9
訪問型サービス・活動C（短期集中型）	1	1.4
介護予防通所介護相当サービス（現行相当）	1	1.4

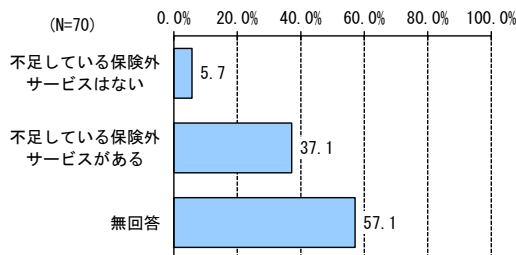
(N=71)

総合事業	件	3LA%
介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）	7	9.9
訪問型サービスB（生活支援型）	7	9.9
訪問型サービスA（基準緩和型）	5	7.0
通所型サービスA（基準緩和型）	3	4.2
通所型サービスB（生活支援型）	3	4.2
介護予防通所介護相当サービス（現行相当）	2	2.8
訪問型サービスC（短期集中型）	2	2.8
通所型サービスC（短期集中型）	1	1.4

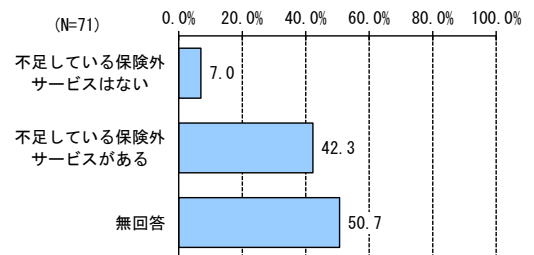
- 三田・三輪南圏域では、「不足している保険外サービスはない」が 5.7%、「不足している保険外サービスがある」が 37.1%となっています。
- 不足しているサービスは、「ゴミ出し」が 20.0%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 18.6%、「見守り、声かけ」が 11.4%となっています。前回調査と比べると、「ゴミ出し」が 5.9 ポイント多く、「配食」が 8.4 ポイント、「外出同行（通院、買い物など）」が 6.8 ポイント少なくなっています。

【保険外サービス】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



(N=70)

保険外サービス	件	3LA%
ゴミ出し	14	20.0
外出同行（通院、買い物など）	13	18.6
見守り、声かけ	8	11.4
サロンなどの定期的な通いの場	7	10.0
移送サービス（介護・福祉タクシー）	7	10.0
配食	4	5.7
調理	3	4.3
掃除・洗濯	3	4.3
買い物	3	4.3

(N=71)

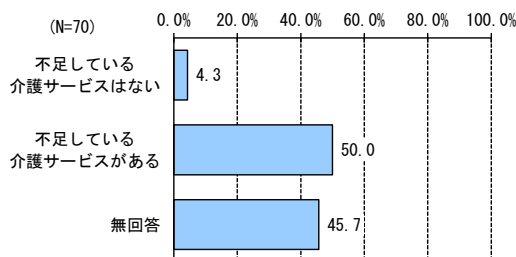
保険外サービス	件	3LA%
外出同行（通院、買い物など）	18	25.4
配食	10	14.1
ゴミ出し	10	14.1
見守り、声かけ	8	11.3
移送サービス（介護・福祉タクシー）	6	8.5
買い物	5	7.0
サロンなどの定期的な通いの場	5	7.0
その他	2	2.8
調理	1	1.4
掃除・洗濯	1	1.4

＜三輪北・小野・高平圏域＞

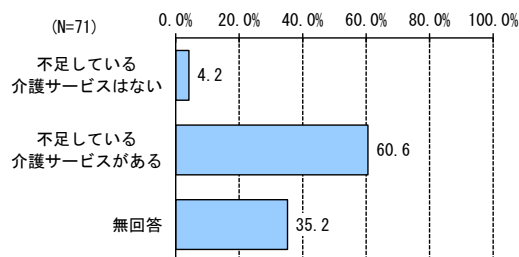
- 三輪北・小野・高平圏域では、「不足している介護サービスはない」が 4.3%、「不足している介護サービスがある」が 50.0%となっています。
- 不足しているサービスは、「訪問介護」が 37.1%で最も多く、次いで「通所介護」が 24.3%、「通所リハビリテーション」が 18.6%となっています。前回調査と比べると、「訪問介護」が 7.5 ポイント多く、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 11.3 ポイント、「夜間対応型訪問介護」が 7.1 ポイント、「小規模多機能型居宅介護」が 7.0 ポイント、「看護小規模多機能型居宅介護」が 5.6 ポイント少なくなっています。

【介護サービス】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



(N=70)

介護サービス	件	3LA%
訪問介護	26	37.1
通所介護	17	24.3
通所リハビリテーション	13	18.6
訪問入浴介護	8	11.4
訪問リハビリテーション	2	2.9
短期入所生活介護・短期入所療養介護	2	2.9
看護小規模多機能型居宅介護	2	2.9
訪問看護	1	1.4
居宅療養管理指導	1	1.4
特定施設入居者生活介護	1	1.4
居宅介護支援	1	1.4
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	1.4
夜間対応型訪問介護	1	1.4
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	1.4
地域密着型通所介護	1	1.4
介護老人保健施設	1	1.4

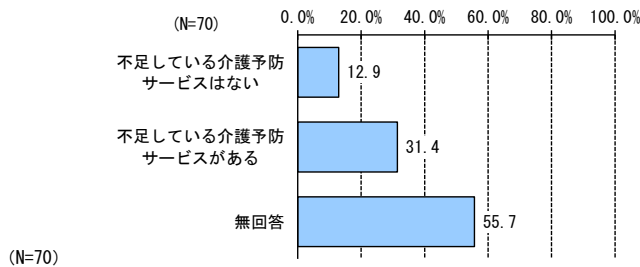
(N=71)

介護サービス	件	3LA%
訪問介護	21	29.6
通所介護	20	28.2
通所リハビリテーション	11	15.5
訪問入浴介護	10	14.1
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	12.7
夜間対応型訪問介護	6	8.5
看護小規模多機能型居宅介護	6	8.5
小規模多機能型居宅介護	5	7.0
訪問看護	3	4.2
訪問リハビリテーション	2	2.8
居宅療養管理指導	2	2.8
短期入所生活介護・短期入所療養介護	2	2.8
居宅介護支援	2	2.8
認知症対応型通所介護	2	2.8
認知症対応型共同生活介護	1	1.4
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	1.4
地域密着型通所介護	1	1.4

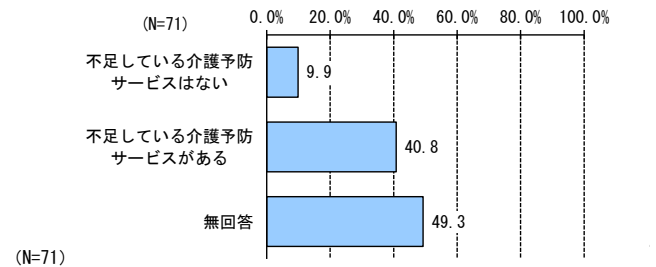
- 三輪北・小野・高平圏域では、「不足している介護予防サービスはない」が12.9%、「不足している介護予防サービスがある」が31.4%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防通所リハビリテーション」が14.3%で最も多く、次いで「介護予防認知症対応型通所介護」が11.4%、「介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護」が7.1%となっています。前回調査と比べると、「介護予防認知症対応型通所介護」が8.6ポイント、「介護予防訪問リハビリテーション」が5.7ポイント多く、「介護予防支援」が8.5ポイント少なくなっています。

【介護予防サービス】

【今回調査（R8年度）】



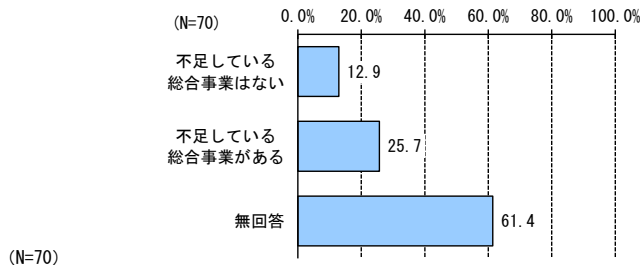
【前回調査（R5年度）】



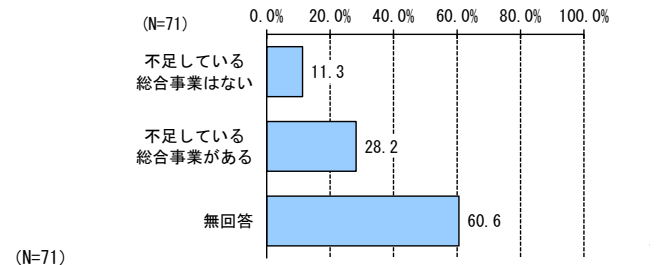
- 三輪北・小野・高平圏域では、「不足している総合事業はない」が12.9%、「不足している総合事業がある」が25.7%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）」が14.3%で最も多く、次いで「介護予防通所介護相当サービス（現行相当）」が8.6%、「通所型サービス・活動A（多様な主体）」が7.1%となっています。

【総合事業】

【今回調査（R8年度）】



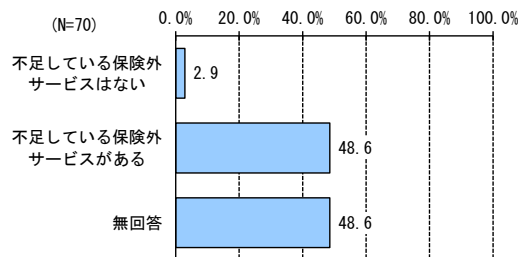
【前回調査（R5年度）】



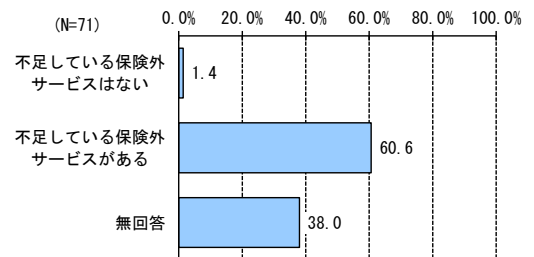
- 三輪北・小野・高平圏域では、「不足している保険外サービスはない」が 2.9%、「不足している保険外サービスがある」が 48.6%となっています。
- 不足しているサービスは、「外出同行（通院、買い物など）」「ゴミ出し」が 27.1%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー）」が 18.6%、「配食」が 12.9%となっています。前回調査と比べると、「配食」が 18.1 ポイント、「買い物」が 6.9 ポイント、「見守り、声かけ」が 5.6 ポイント少なくなっています。

【保険外サービス】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



(N=70)

保険外サービス	件	3LA%
外出同行（通院、買い物など）	19	27.1
ゴミ出し	19	27.1
移送サービス（介護・福祉タクシー）	13	18.6
配食	9	12.9
買い物	8	11.4
調理	3	4.3
サロンなどの定期的な通いの場	3	4.3
掃除・洗濯	2	2.9
見守り、声かけ	2	2.9
その他	1	1.4

(N=71)

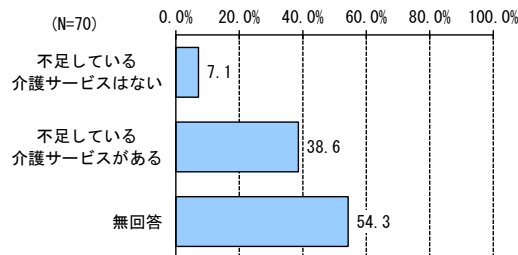
保険外サービス	件	3LA%
配食	22	31.0
ゴミ出し	19	26.8
外出同行（通院、買い物など）	17	23.9
買い物	13	18.3
移送サービス（介護・福祉タクシー）	10	14.1
見守り、声かけ	6	8.5
サロンなどの定期的な通いの場	6	8.5
その他	2	2.8
調理	1	1.4
掃除・洗濯	1	1.4

< 広野・本庄圏域 >

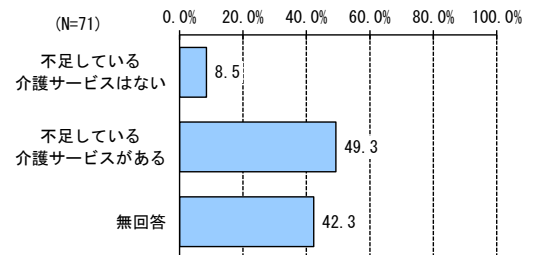
- 広野・本庄圏域について、「不足している介護サービスはない」が 7.1%、「不足している介護サービスがある」が 38.6%となっています。
- 不足しているサービスは、「訪問介護」が 21.4%で最も多く、次いで「通所介護」が 12.9%、「訪問入浴介護」「通所リハビリテーション」が 11.4%となっています。前回調査と比べると、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 12.6 ポイント、「夜間対応型訪問介護」が 7.1 ポイント、「看護小規模多機能型居宅介護」が 7.0 ポイント少なくなっています。

【介護サービス】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



(N=70)

介護サービス	件	3LA%
訪問介護	15	21.4
通所介護	9	12.9
訪問入浴介護	8	11.4
通所リハビリテーション	8	11.4
短期入所生活介護・短期入所療養介護	3	4.3
訪問リハビリテーション	2	2.9
特定施設入居者生活介護	2	2.9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	2.9
認知症対応型通所介護	2	2.9
小規模多機能型居宅介護	2	2.9
看護小規模多機能型居宅介護	2	2.9
地域密着型通所介護	2	2.9
居宅介護支援	1	1.4
夜間対応型訪問介護	1	1.4
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	1.4

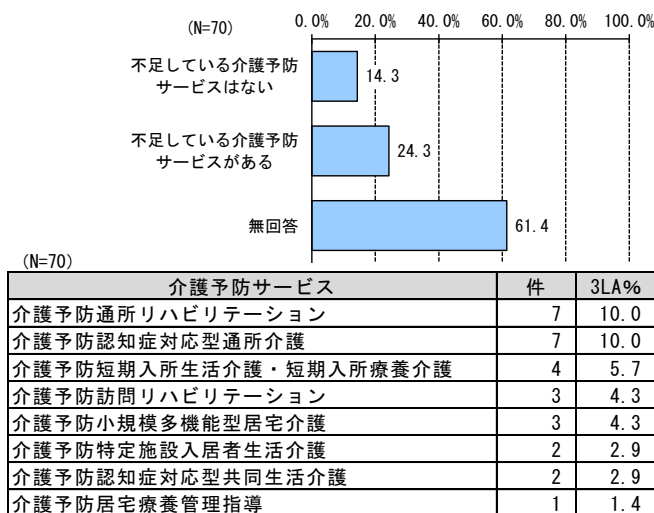
(N=71)

介護サービス	件	3LA%
訪問介護	13	18.3
訪問入浴介護	11	15.5
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	11	15.5
通所介護	8	11.3
看護小規模多機能型居宅介護	7	9.9
通所リハビリテーション	6	8.5
夜間対応型訪問介護	6	8.5
小規模多機能型居宅介護	5	7.0
訪問リハビリテーション	3	4.2
居宅介護支援	2	2.8
認知症対応型通所介護	2	2.8
地域密着型通所介護	2	2.8
訪問看護	1	1.4
特定施設入居者生活介護	1	1.4
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	1.4

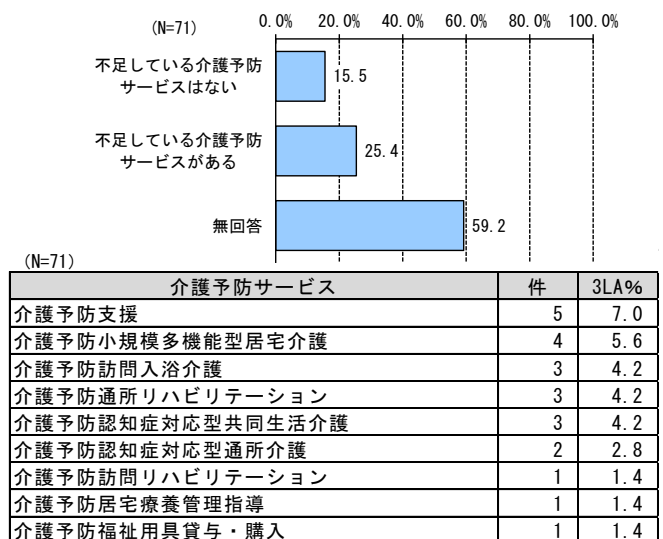
- 広野・本庄圏域について、「不足している介護予防サービスはない」が14.3%、「不足している介護予防サービスがある」が24.3%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防通所リハビリテーション」「介護予防認知症対応型通所介護」が10.0%で最も多く、次いで「介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護」が5.7%となっています。前回調査と比べると、「介護予防認知症対応型通所介護」が7.2ポイント、「介護予防通所リハビリテーション」が5.8ポイント、「介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護」が5.7ポイント多く、「介護予防支援」が7.0ポイント少なくなっています。

【介護予防サービス】

【今回調査（R8 年度）】



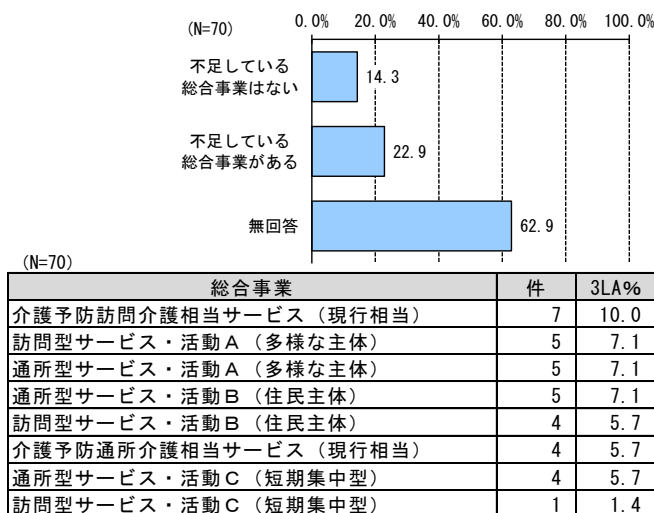
【前回調査（R5 年度）】



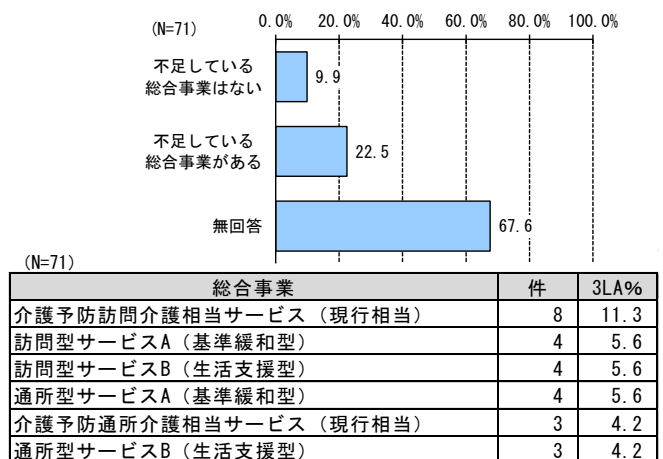
- 広野・本庄圏域について、「不足している総合事業はない」が14.3%、「不足している総合事業がある」が22.9%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）」が10.0%で最も多く、次いで「訪問型サービス・活動A（多様な主体）」「通所型サービス・活動A（多様な主体）」「通所型サービス・活動B（住民主体）」が7.1%となっています。

【総合事業】

【今回調査（R8 年度）】



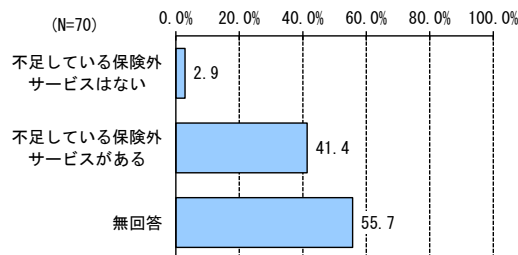
【前回調査（R5 年度）】



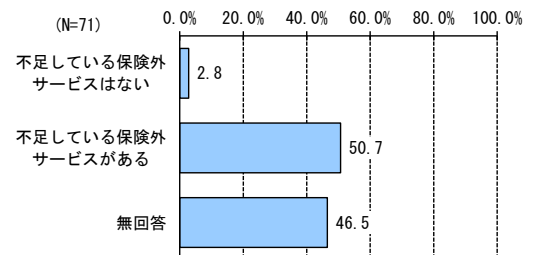
- 広野・本庄圏域について、「不足している保険外サービスはない」が 2.9%、「不足している保険外サービスがある」が 41.4%となっています。
- 不足しているサービスは、「外出同行（通院、買い物など）」が 21.4%で最も多く、次いで「ゴミ出し」が 20.0%、「移送サービス（介護・福祉タクシー）」が 14.3%となっています。前回調査と比べると、「配食」が 11.1 ポイント、「見守り、声かけ」が 7.0 ポイント、「買い物」が 6.9 ポイント少なくなっています。

【保険外サービス】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



(N=70)

保険外サービス	件	3LA%
外出同行（通院、買い物など）	15	21.4
ゴミ出し	14	20.0
移送サービス（介護・福祉タクシー）	10	14.3
配食	7	10.0
買い物	6	8.6
サロンなどの定期的な通いの場	5	7.1
調理	3	4.3
掃除・洗濯	2	2.9
見守り、声かけ	2	2.9
その他	1	1.4

(N=71)

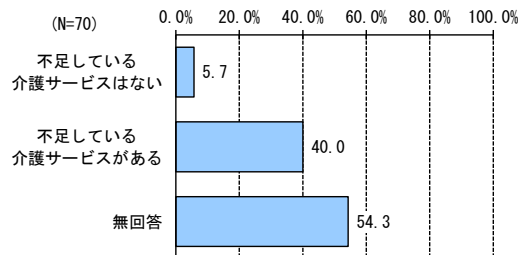
保険外サービス	件	3LA%
外出同行（通院、買い物など）	18	25.4
配食	15	21.1
ゴミ出し	14	19.7
買い物	11	15.5
移送サービス（介護・福祉タクシー）	10	14.1
見守り、声かけ	7	9.9
サロンなどの定期的な通いの場	5	7.0
その他	3	4.2
調理	1	1.4
掃除・洗濯	1	1.4

＜藍圏域＞

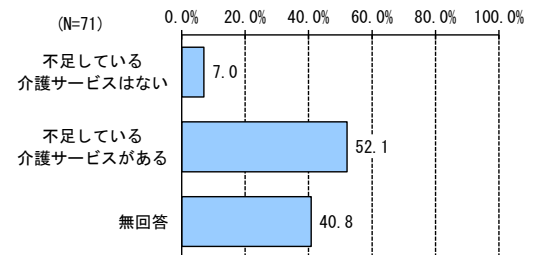
- 藍圏域について、「不足している介護サービスはない」が 5.7%、「不足している介護サービスがある」が 40.0%となっています。
- 不足しているサービスは、「訪問介護」が 22.9%で最も多く、次いで「通所介護」が 12.9%、「訪問入浴介護」が 11.4%となっています。前回調査と比べると、「訪問介護」が 10.2 ポイント多く、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 15.4 ポイント、「看護小規模多機能型居宅介護」が 7.0 ポイント、「夜間対応型訪問介護」が 5.6 ポイント少なくなっています。

【介護サービス】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



(N=70)

介護サービス	件	3LA%
訪問介護	16	22.9
通所介護	9	12.9
訪問入浴介護	8	11.4
通所リハビリテーション	5	7.1
短期入所生活介護・短期入所療養介護	3	4.3
訪問看護	2	2.9
訪問リハビリテーション	2	2.9
居宅介護支援	2	2.9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	2.9
夜間対応型訪問介護	2	2.9
小規模多機能型居宅介護	2	2.9
看護小規模多機能型居宅介護	2	2.9
地域密着型通所介護	2	2.9
特定施設入居者生活介護	1	1.4
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	1.4

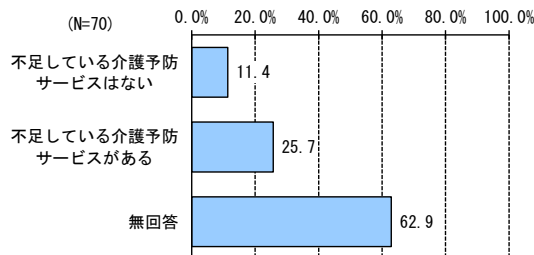
(N=71)

介護サービス	件	3LA%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	13	18.3
訪問入浴介護	11	15.5
訪問介護	9	12.7
通所介護	8	11.3
看護小規模多機能型居宅介護	7	9.9
夜間対応型訪問介護	6	8.5
小規模多機能型居宅介護	5	7.0
居宅介護支援	4	5.6
通所リハビリテーション	3	4.2
認知症対応型通所介護	3	4.2
訪問リハビリテーション	2	2.8
訪問看護	1	1.4
特定施設入居者生活介護	1	1.4
認知症対応型共同生活介護	1	1.4
地域密着型通所介護	1	1.4
介護医療院	1	1.4

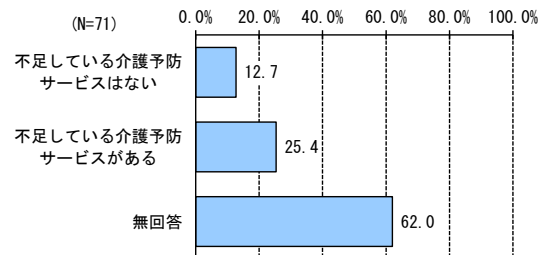
- 藍圏域について、「不足している介護予防サービスはない」が 11.4%、「不足している介護予防サービスがある」が 25.7%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防認知症対応型通所介護」が 11.4%で最も多く、次いで「介護予防通所リハビリテーション」が 8.6%、「介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護」が 7.1%となっています。前回調査と比べると、「介護予防認知症対応型通所介護」が 8.6 ポイント、「介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護」が 7.1 ポイント多く、「介護予防支援」が 8.5 ポイント少なくなっています。

【介護予防サービス】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



(N=70)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防認知症対応型通所介護	8	11.4
介護予防通所リハビリテーション	6	8.6
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	5	7.1
介護予防訪問リハビリテーション	4	5.7
介護予防小規模多機能型居宅介護	3	4.3
介護予防特定施設入居者生活介護	2	2.9
介護予防認知症対応型共同生活介護	2	2.9
介護予防訪問入浴介護	1	1.4
介護予防居宅療養管理指導	1	1.4

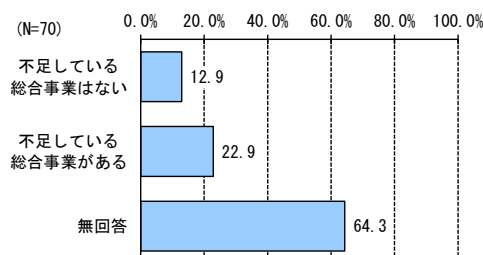
(N=71)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防支援	6	8.5
介護予防小規模多機能型居宅介護	6	8.5
介護予防認知症対応型共同生活介護	4	5.6
介護予防通所リハビリテーション	3	4.2
介護予防訪問入浴介護	2	2.8
介護予防認知症対応型通所介護	2	2.8
介護予防訪問リハビリテーション	1	1.4
介護予防居宅療養管理指導	1	1.4

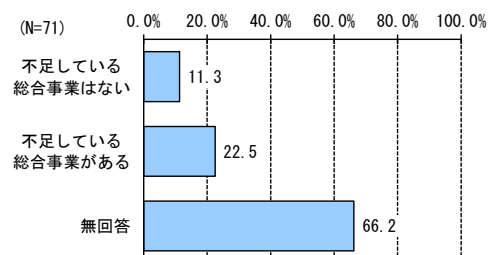
- 藍圏域について、「不足している総合事業はない」が 12.9%、「不足している総合事業がある」が 22.9%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）」が 10.0%で最も多く、次いで「通所型サービス・活動C（短期集中型）」が 8.6%となっています。

【総合事業】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



(N=70)

総合事業	件	3LA%
介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）	7	10.0
通所型サービス・活動C（短期集中型）	6	8.6
訪問型サービス・活動A（多様な主体）	4	5.7
介護予防通所介護相当サービス（現行相当）	4	5.7
通所型サービス・活動A（多様な主体）	4	5.7
通所型サービス・活動B（住民主体）	4	5.7
訪問型サービス・活動B（住民主体）	3	4.3
訪問型サービス・活動C（短期集中型）	3	4.3

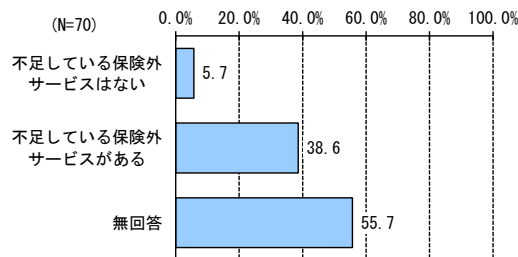
(N=71)

総合事業	件	3LA%
介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）	7	9.9
訪問型サービスB（生活支援型）	6	8.5
訪問型サービスA（基準緩和型）	4	5.6
通所型サービスA（基準緩和型）	3	4.2
通所型サービスB（生活支援型）	3	4.2
介護予防通所介護相当サービス（現行相当）	1	1.4

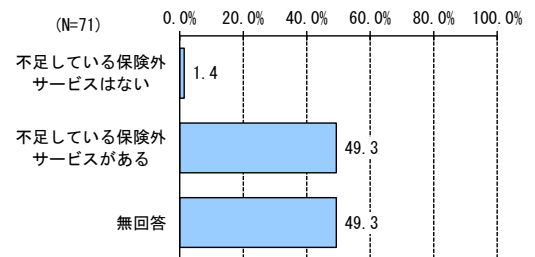
- 藍圈域について、「不足している保険外サービスはない」が 5.7%、「不足している保険外サービスがある」が 38.6%となっています。
- 不足しているサービスは、「外出同行（通院、買い物など）」が 15.7%で最も多く、次いで「ゴミ出し」が 14.3%、「買い物」が 11.4%となっています。前回調査と比べると、「外出同行（通院、買い物など）」が 12.5 ポイント、「配食」が 9.7 ポイント、「その他」が 5.6 ポイント少なくなっています。

【保険外サービス】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



(N=70)

保険外サービス	件	3LA%
外出同行（通院、買い物など）	11	15.7
ゴミ出し	10	14.3
買い物	8	11.4
配食	7	10.0
移送サービス（介護・福祉タクシー）	7	10.0
サロンなどの定期的な通いの場	4	5.7
調理	3	4.3
見守り、声かけ	3	4.3
掃除・洗濯	2	2.9

(N=71)

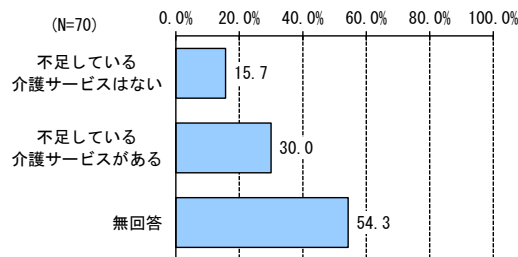
保険外サービス	件	3LA%
外出同行（通院、買い物など）	20	28.2
配食	14	19.7
ゴミ出し	11	15.5
買い物	9	12.7
移送サービス（介護・福祉タクシー）	7	9.9
見守り、声かけ	6	8.5
その他	4	5.6
サロンなどの定期的な通いの場	2	2.8
調理	1	1.4
掃除・洗濯	1	1.4

<フラワー圏域>

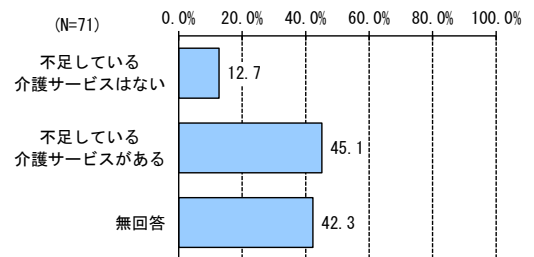
- フラワー圏域について、「不足している介護サービスはない」が 15.7%、「不足している介護サービスがある」が 30.0%となっています。
- 不足しているサービスは、「訪問入浴介護」が 12.9%で最も多く、次いで「訪問介護」が 11.4%となっています。前回調査と比べると、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 9.8 ポイント、「夜間対応型訪問介護」が 8.4 ポイント少なくなっています。

【介護サービス】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



(N=70)

介護サービス	件	3LA%
訪問入浴介護	9	12.9
訪問介護	8	11.4
看護小規模多機能型居宅介護	4	5.7
認知症対応型共同生活介護	3	4.3
介護老人保健施設	3	4.3
通所リハビリテーション	2	2.9
短期入所生活介護・短期入所療養介護	2	2.9
特定施設入居者生活介護	2	2.9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	2.9
夜間対応型訪問介護	2	2.9
認知症対応型通所介護	2	2.9
訪問看護	1	1.4
訪問リハビリテーション	1	1.4
通所介護	1	1.4
小規模多機能型居宅介護	1	1.4
地域密着型通所介護	1	1.4
介護老人福祉施設	1	1.4

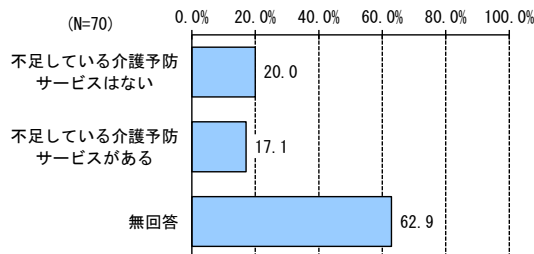
(N=71)

介護サービス	件	3LA%
訪問入浴介護	11	15.5
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	12.7
夜間対応型訪問介護	8	11.3
看護小規模多機能型居宅介護	7	9.9
訪問介護	6	8.5
通所リハビリテーション	5	7.0
訪問リハビリテーション	3	4.2
通所介護	3	4.2
短期入所生活介護・短期入所療養介護	3	4.2
居宅介護支援	3	4.2
特定施設入居者生活介護	2	2.8
小規模多機能型居宅介護	2	2.8
認知症対応型通所介護	1	1.4
地域密着型通所介護	1	1.4

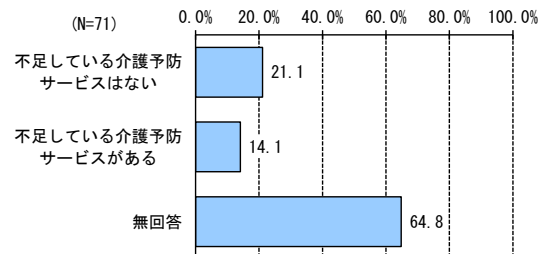
- フラワー圏域について、「不足している介護予防サービスはない」が20.0%、「不足している介護予防サービスがある」が17.1%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防認知症対応型通所介護」が7.1%で最も多く、次いで「介護予防訪問リハビリテーション」「介護予防通所リハビリテーション」「介護予防特定施設入居者生活介護」が4.3%となっています。

【介護予防サービス】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



(N=70)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防認知症対応型通所介護	5	7.1
介護予防訪問リハビリテーション	3	4.3
介護予防通所リハビリテーション	3	4.3
介護予防特定施設入居者生活介護	3	4.3
介護予防小規模多機能型居宅介護	2	2.9
介護予防認知症対応型共同生活介護	2	2.9
介護予防訪問入浴介護	1	1.4
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	1	1.4
介護予防支援	1	1.4

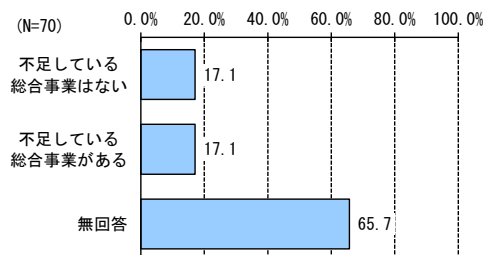
(N=71)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防認知症対応型通所介護	4	5.6
介護予防支援	3	4.2
介護予防小規模多機能型居宅介護	3	4.2
介護予防認知症対応型共同生活介護	2	2.8
介護予防訪問入浴介護	1	1.4
介護予防通所リハビリテーション	1	1.4
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	1	1.4
介護予防住宅改修	1	1.4

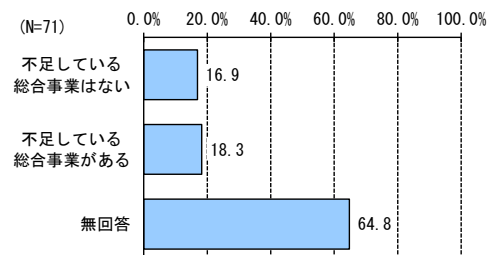
- フラワー圏域について、「不足している総合事業はない」が17.1%、「不足している総合事業がある」が17.1%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）」「訪問型サービス・活動B（住民主体）」が7.1%で最も多く、次いで「通所型サービス・活動A（多様な主体）」「通所型サービス・活動B（住民主体）」「通所型サービス・活動C（短期集中型）」が5.7%となっています。

【総合事業】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



(N=70)

総合事業	件	3LA%
介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）	5	7.1
訪問型サービス・活動B（住民主体）	5	7.1
通所型サービス・活動A（多様な主体）	4	5.7
通所型サービス・活動B（住民主体）	4	5.7
通所型サービス・活動C（短期集中型）	4	5.7
訪問型サービス・活動A（多様な主体）	3	4.3
訪問型サービス・活動C（短期集中型）	2	2.9
介護予防通所介護相当サービス（現行相当）	1	1.4

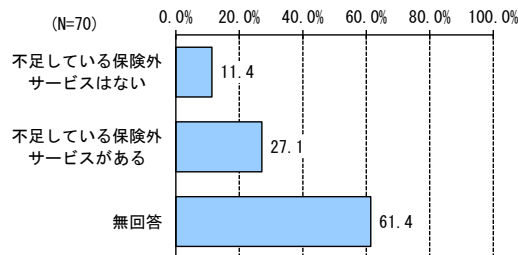
(N=71)

総合事業	件	3LA%
介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）	7	9.9
訪問型サービスB（生活支援型）	4	5.6
通所型サービスA（基準緩和型）	4	5.6
訪問型サービスA（基準緩和型）	3	4.2
介護予防通所介護相当サービス（現行相当）	3	4.2
通所型サービスB（生活支援型）	2	2.8

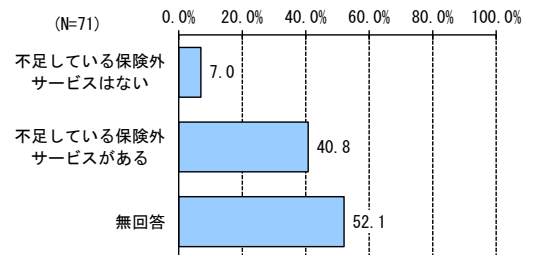
- フラワー圏域について、「不足している保険外サービスはない」が 11.4%、「不足している保険外サービスがある」が 27.1%となっています。
- 不足しているサービスは、「外出同行（通院、買い物など）」「ゴミ出し」が 15.7%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー）」が 8.6%となっています。前回調査と比べると、「サロンなどの定期的な通いの場」が 8.5 ポイント、「見守り、声かけ」が 7.0 ポイント、「外出同行（通院、買い物など）」が 6.8 ポイント、「配食」が 5.6 ポイント少なくなっています。

【保険外サービス】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



(N=70)

保険外サービス	件	3LA%
外出同行（通院、買い物など）	11	15.7
ゴミ出し	11	15.7
移送サービス（介護・福祉タクシー）	6	8.6
配食	4	5.7
買い物	4	5.7
調理	3	4.3
掃除・洗濯	3	4.3
見守り、声かけ	2	2.9
サロンなどの定期的な通いの場	1	1.4
その他	1	1.4

(N=71)

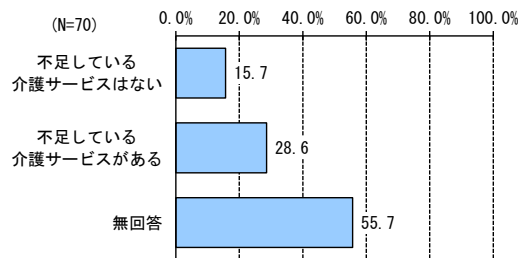
保険外サービス	件	3LA%
外出同行（通院、買い物など）	16	22.5
移送サービス（介護・福祉タクシー）	9	12.7
配食	8	11.3
ゴミ出し	8	11.3
買い物	7	9.9
見守り、声かけ	7	9.9
サロンなどの定期的な通いの場	7	9.9
掃除・洗濯	2	2.8
その他	2	2.8
調理	1	1.4

< ウッディ・カルチャー圏域 >

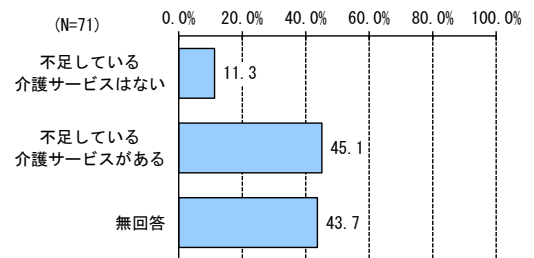
- ウッディ・カルチャー圏域について、「不足している介護サービスはない」が15.7%、「不足している介護サービスがある」が28.6%となっています。
- 不足しているサービスは「訪問介護」「訪問入浴介護」が12.9%で最も多く、次いで「通所リハビリテーション」「介護老人保健施設」が4.3%となっています。前回調査と比べると、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が11.3ポイント、「夜間対応型訪問介護」が7.0ポイント、「居宅介護支援」が5.6ポイント、「看護小規模多機能型居宅介護」が5.6ポイント、「訪問入浴介護」が5.4ポイント少なくなっています。

【介護サービス】

〔今回調査（R8年度）〕



〔前回調査（R5年度）〕



(N=70)

介護サービス	件	3LA%
訪問介護	9	12.9
訪問入浴介護	9	12.9
通所リハビリテーション	3	4.3
介護老人保健施設	3	4.3
短期入所生活介護・短期入所療養介護	2	2.9
特定施設入居者生活介護	2	2.9
夜間対応型訪問介護	2	2.9
看護小規模多機能型居宅介護	2	2.9
介護老人福祉施設	2	2.9
訪問看護	1	1.4
訪問リハビリテーション	1	1.4
通所介護	1	1.4
居宅介護支援	1	1.4
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	1.4
認知症対応型通所介護	1	1.4
認知症対応型共同生活介護	1	1.4
地域密着型通所介護	1	1.4
介護医療院	1	1.4

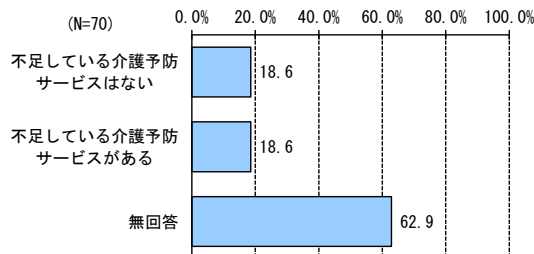
(N=71)

介護サービス	件	3LA%
訪問入浴介護	13	18.3
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	12.7
夜間対応型訪問介護	7	9.9
訪問介護	6	8.5
看護小規模多機能型居宅介護	6	8.5
居宅介護支援	5	7.0
通所介護	3	4.2
認知症対応型通所介護	3	4.2
訪問リハビリテーション	2	2.8
通所リハビリテーション	2	2.8
短期入所生活介護・短期入所療養介護	2	2.8
特定施設入居者生活介護	2	2.8
小規模多機能型居宅介護	2	2.8
介護老人福祉施設	1	1.4
介護老人保健施設	1	1.4

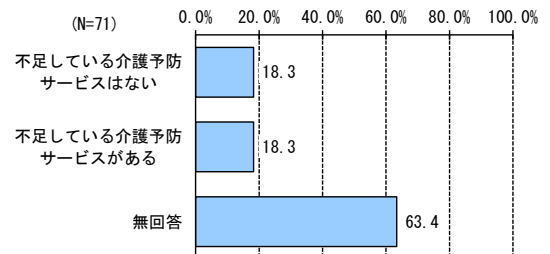
- ウッディ・カルチャー圏域について、「不足している介護予防サービスはない」が 18.6%、「不足している介護予防サービスがある」が 18.6%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防認知症対応型通所介護」が 7.1%で最も多く、次いで「介護予防通所リハビリテーション」が 5.7%となっています。前回調査と比べると、「介護予防通所リハビリテーション」が 5.7ポイント多くなっています。

【介護予防サービス】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



(N=70)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防認知症対応型通所介護	5	7.1
介護予防通所リハビリテーション	4	5.7
介護予防訪問リハビリテーション	3	4.3
介護予防特定施設入居者生活介護	3	4.3
介護予防支援	2	2.9
介護予防小規模多機能型居宅介護	2	2.9
介護予防認知症対応型共同生活介護	2	2.9
介護予防訪問看護	1	1.4
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	1	1.4

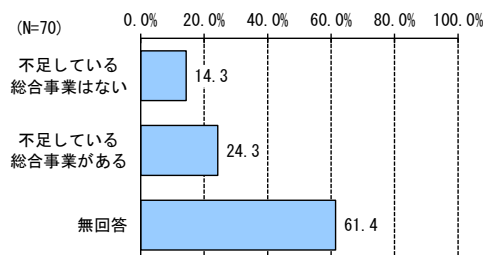
(N=71)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防支援	4	5.6
介護予防認知症対応型通所介護	3	4.2
介護予防小規模多機能型居宅介護	3	4.2
介護予防認知症対応型共同生活介護	3	4.2
介護予防訪問入浴介護	2	2.8
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	2	2.8
介護予防訪問リハビリテーション	1	1.4
介護予防居宅療養管理指導	1	1.4
介護予防福祉用具貸与・購入	1	1.4
介護予防住宅改修	1	1.4

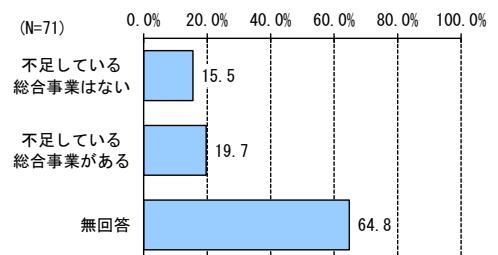
- ウッディ・カルチャー圏域について、「不足している総合事業はない」が 14.3%、「不足している総合事業がある」が 24.3%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）」が 12.9%で最も多く、次いで「訪問型サービス・活動A（多様な主体）」が 8.6%となっています。

【総合事業】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



(N=70)

総合事業	件	3LA%
介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）	9	12.9
訪問型サービス・活動A（多様な主体）	6	8.6
訪問型サービス・活動B（住民主体）	5	7.1
通所型サービス・活動A（多様な主体）	5	7.1
通所型サービス・活動B（住民主体）	5	7.1
通所型サービス・活動C（短期集中型）	3	4.3
訪問型サービス・活動C（短期集中型）	2	2.9
介護予防通所介護相当サービス（現行相当）	2	2.9

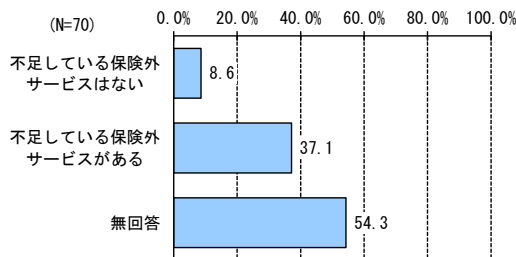
(N=71)

総合事業	件	3LA%
介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）	6	8.5
訪問型サービスB（生活支援型）	6	8.5
訪問型サービスA（基準緩和型）	4	5.6
通所型サービスA（基準緩和型）	3	4.2
通所型サービスB（生活支援型）	3	4.2
介護予防通所介護相当サービス（現行相当）	2	2.8
通所型サービスC（短期集中型）	1	1.4

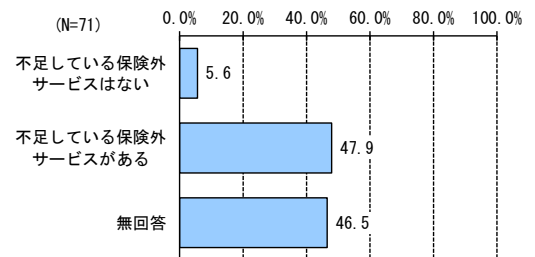
- ウッディ・カルチャー圏域について、「不足している保険外サービスはない」が 8.6%、「不足している保険外サービスがある」が 37.1%となっています。
- 不足しているサービスは、「外出同行（通院、買い物など）」「ゴミ出し」が 21.4%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー）」が 10.0%となっています。前回調査と比べると、「見守り、声かけ」が 11.2 ポイント、「買い物」が 7.0 ポイント、「サロンなどの定期的な通いの場」が 5.6 ポイント少なくなっています。

【保険外サービス】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



(N=70)

保険外サービス	件	3LA%
外出同行（通院、買い物など）	15	21.4
ゴミ出し	15	21.4
移送サービス（介護・福祉タクシー）	7	10.0
配食	4	5.7
調理	3	4.3
掃除・洗濯	3	4.3
買い物	3	4.3
サロンなどの定期的な通いの場	3	4.3
見守り、声かけ	2	2.9
その他	1	1.4

(N=71)

保険外サービス	件	3LA%
外出同行（通院、買い物など）	18	25.4
ゴミ出し	13	18.3
見守り、声かけ	10	14.1
買い物	8	11.3
移送サービス（介護・福祉タクシー）	8	11.3
配食	7	9.9
サロンなどの定期的な通いの場	7	9.9
その他	3	4.2
調理	1	1.4
掃除・洗濯	1	1.4

<まとめ>

【圏域別 最も不足しているサービス】

	介護サービス	介護予防サービス	総合事業	保険外サービス
三田・三輪南	訪問介護 訪問入浴介護	介護予防認知症 対応型通所介護	介護予防訪問介護相当 サービス（現行相当） 訪問型サービス・ 活動B（住民主体） 通所型サービス・ 活動B（住民主体）	ゴミ出し
三輪北・小野・高平	訪問介護	介護予防通所 リハビリテーション	介護予防訪問介護相当 サービス（現行相当）	外出同行（通院、 買い物など） ゴミ出し
広野・本庄	訪問介護	介護予防通所 リハビリテーション 介護予防認知症 対応型通所介護	介護予防訪問介護相当 サービス（現行相当）	外出同行（通院、 買い物など）
藍	訪問介護	介護予防認知症 対応型通所介護	介護予防訪問介護相当 サービス（現行相当）	外出同行（通院、 買い物など）
フラワー	訪問入浴介護	介護予防認知症 対応型通所介護	介護予防訪問介護相当 サービス（現行相当） 訪問型サービス・ 活動B（住民主体）	外出同行（通院、 買い物など） ゴミ出し
ウッディ・カルチャー	訪問介護 訪問入浴介護	介護予防認知症 対応型通所介護	介護予防訪問介護相当 サービス（現行相当）	外出同行（通院、 買い物など） ゴミ出し

【不足している上位3サービスと特に不足している圏域】

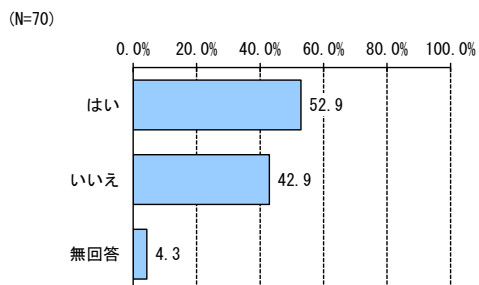
不足しているサービス			特に不足している圏域
介護 サービス	1	訪問介護	三輪北・小野・高平、 藍、 広野・本庄
	2	訪問入浴介護	フラワー、 ウッディ・カルチャー
	3	通所介護	三輪北・小野・高平、 広野・本庄、 藍
介護予防 サービス	1	介護予防認知症対応型通所介護	三輪北・小野・高平、 藍、 広野・本庄
	2	介護予防通所リハビリテーション	三輪北・小野・高平、 広野・本庄、 藍
	3	介護予防訪問リハビリテーション	三輪北・小野・高平、 藍
総合事業	1	介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）	三輪北・小野・高平、 ウッディ・カルチャー
	2	通所型サービス・活動A（多様な主体）	三輪北・小野・高平、 広野・本庄、 ウッディ・カルチャー
	3	通所型サービス・活動B（住民主体）	三田・三輪南、 広野・本庄、 ウッディ・カルチャー
保険外 サービス	1	外出同行（通院、買い物など）	三輪北・小野・高平、 広野・本庄、 ウッディ・カルチャー
	2	ゴミ出し	三輪北・小野・高平、 ウッディ・カルチャー
	3	移送サービス（介護・福祉タクシー）	三輪北・小野・高平、 広野・本庄

(3) 介護保険サービスの地域間格差

- 問 14 三田市内に、介護保険サービスの利用が難しい地域（地域間格差）がありますか。
（1つを選択）

○ 介護保険サービスの地域間格差について、「はい」が52.9%、「いいえ」が42.9%となっています。

【介護保険サービスの地域間格差】



●問 14-1 問 14 で「1. はい」を選んだ方にお伺いします。

地域間格差の解消のためには、どのような取組が効果的であるとお考えですか。

分類	自由記述
サービスの充実についての意見	訪問でも、通所でも地域に密着したサービスが必要
	選択できるサービスの量の違い。
	事業所がない。開けない。
	事業所がない。
	特に三輪北・小野・高平地域はサービスの調整が難しい。訪問介護、訪問看護など。
	三輪北・小野・高平地区など、デイやヘルプの事業所設置の促進のための、事業所への補助制度など
	どこに住んでいても、介護サービスを適正に受けられるように、行政が介護人材の確保や事業所の誘致を行う。
	民間ではカバーできない地域の訪問介護は公務員で行う。
	定員数の多い通所介護は、三田市内ほぼ送迎してもらえるが、少人数の地域密着型については、送迎が難しい地域があります。利用者によっては、20～30人のデイサービス利用を望まないケースもあるので、できれば要介護の方でも利用できるサロンのような小規模のデイの設立を行政で支援してもらいたい。
	個別対応 移動環境の充実 小さなサービス 配食、外出など
移動への加算・補助についての意見	事業所から訪問するのに、20分以上かかる地域への支援に対し、交通費等の助成があると、各事業所の負担が軽減されて支援しやすくなる。
	事業所から利用者宅まで時間がかかる地域があり、地域を特定し介護報酬の上乗せなどの検討が必要ではないかと考える。
	山間部のサービス提供加算 山間部の送迎加算
	事業所から離れた場所への送迎や訪問した場合に、プラスで算定ができる。中山間地域加算のような算定(利用者負担ではなく)
	小柿・母子・波豆川方面等、通所サービスの送迎の範囲外であったり、利用できる曜日が限定されている状況。また訪問介護サービスも地域間格差がある。
	農村部等、遠方への移動コストに対する補助でしょうか。
	ある程度の遠方の訪問に加算などの報酬をプラスする。
	市内や新興住宅地から離れている地域の方が利用する場合、事業所から受け入れをしてもらえるように、国や県・市から補助金を出し事業所の負担軽減につながるようにする。
	利用者宅まで通所介護の送迎や、訪問介護のヘルパーさんが利用者宅までに行く移動に時間がかかるため対応ができる事業所が限られてしまう。市独自で遠方に行く際に補助がでる等あれば対応してもらえる事業所が増えるかもしれない。
サービスの提供範囲についての意見	高平や小野から奥になると通所介護、訪問介護共にいけない、と断られる事業所が多い。奥の方にも行ってもらえるようにしてほしい
	山間地区にも、ヘルパーやデイサービスが行けるようにしてほしい
	三田全域利用できるよう事業所判断で断らないようにしてほしい
	通所サービスで事業所によっては送迎不可の地域がありますが、効果的な取り組みについてはわかりません。
	事業所によるサービス地域拡大
	訪問介護や通所介護など対応不可と言われる地域があります。 郊外の地域に、訪問介護の事業所や通所介護の事業所が出来ればと思いますが、現実的にどうかはわかりません。
人材確保についての意見	訪問介護サービスの人員確保
	各介護保険サービス提供事業所の人材確保に対する、公的な支援や援助、報酬改定(増加)
	○介護職従事者の増員 ・働きやすい環境→自宅近くに勤務 働く時間の選択肢が多い 収入と労働力が見合っていること ・専門職員が育ちやすい環境→働きたい環境づくり スーパーバイザーによる各方面に渡ってのサポートが受けられる 労働時間等の多様性 困ったことに対してのサポートなどの労働環境の整備 スーパーバイザーへのサポートと協力体制の確立
	○インフォーマル地域資源の見直しと協力体制の確立

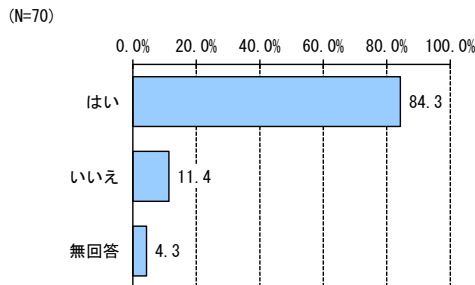
(4) インフォーマルなサービスの活用

●問 15 インフォーマルなサービスをプランに位置付けたことがありますか。(1つを選択)

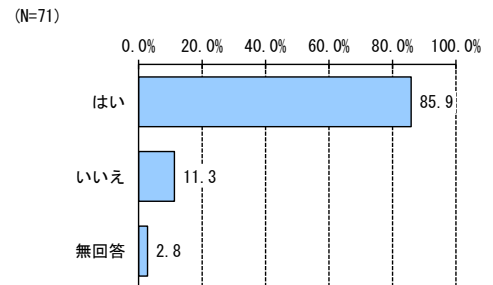
- インフォーマルなサービスの位置付けについて、「はい」が84.3%、「いいえ」が11.4%となっています。

【インフォーマルなサービスの位置付け】

[今回調査 (R8 年度)]



[前回調査 (R5 年度)]



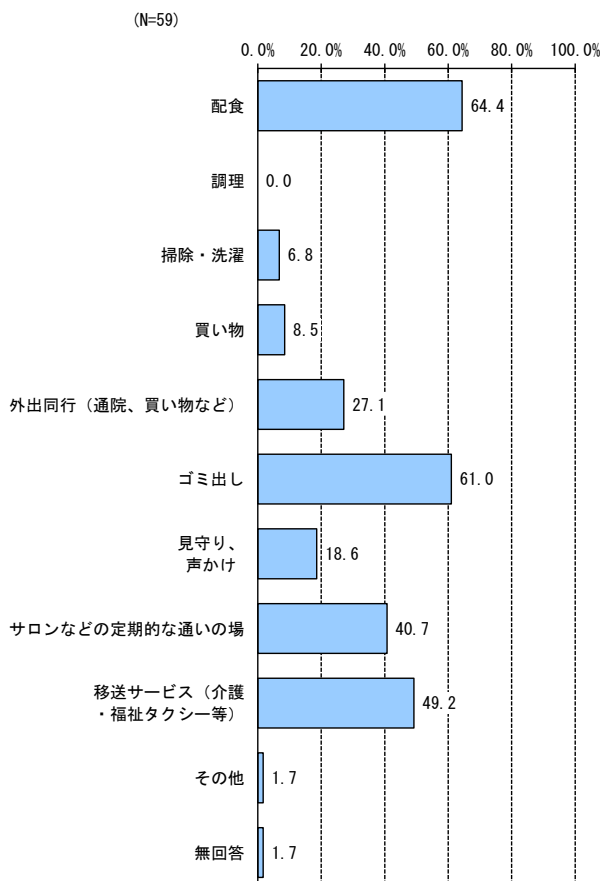
●問 15-1 問 15 で「1. はい」を選んだ方にお伺いします。

あなたがケアプランの作成または見直し時に、位置付けたことのあるサービスは何ですか。(あてはまるものすべてを選択)

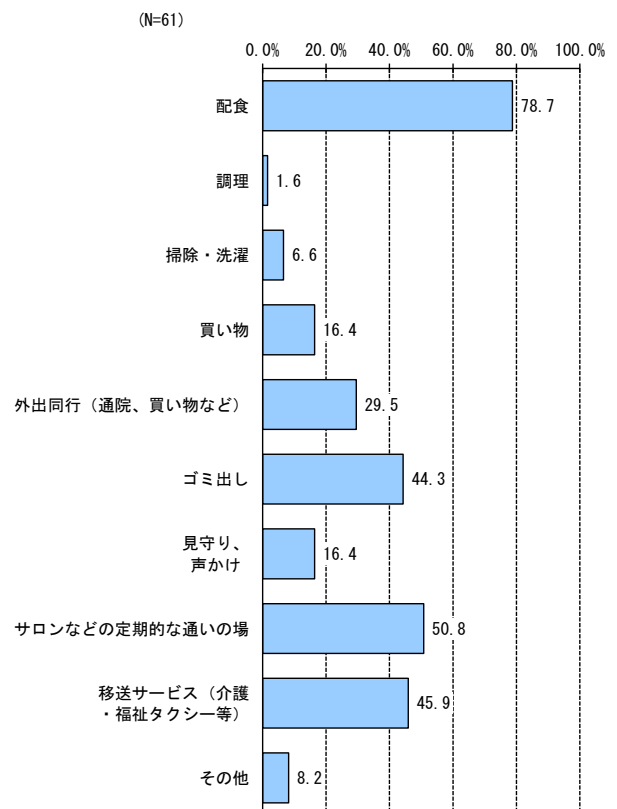
- 位置付けたことのあるサービスについて、「配食」が64.4%で最も多く、次いで「ゴミ出し」が61.0%、「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」が49.2%となっています。
- 前回調査と比べると、「ゴミ出し」が16.7ポイント多く、「配食」が14.3ポイント、「サロンなどの定期的な通いの場」が10.1ポイント少なくなっています。

【位置付けたことのあるサービス (MA)】

[今回調査 (R8 年度)]



[前回調査 (R5 年度)]



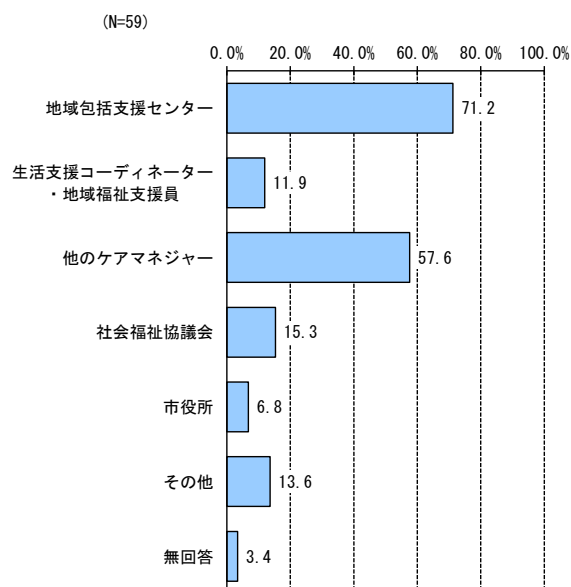
●問 15-2 問 15 で「1. はい」を選んだ方にお伺いします。

どこから情報を入手していますか。(あてはまるものすべてを選択)

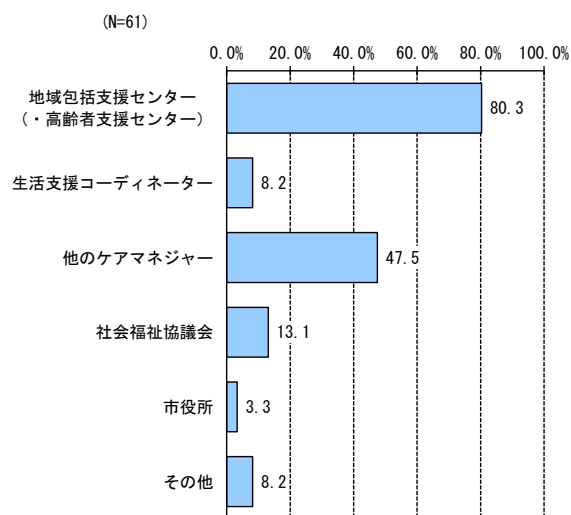
- インフォーマルなサービスの情報入手先について、「地域包括支援センター」が 71.2%で最も多く、次いで「他のケアマネジャー」が 57.6%、「社会福祉協議会」が 15.3%となっています。
- 前回調査と比べると、「他のケアマネジャー」が 10.1 ポイント多く、「地域包括支援センター」が 9.1 ポイント少なくなっています。

【インフォーマルなサービスの情報入手先 (MA)】

〔今回調査 (R8 年度)〕



〔前回調査 (R5 年度)〕



●問 15-3 問 15 で「2. いいえ」を選んだ方にお伺いします。

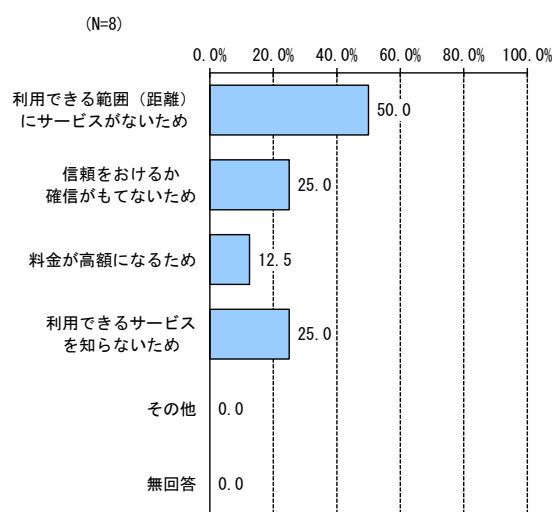
インフォーマルサービスをプランに位置付けたことがない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてを選択)

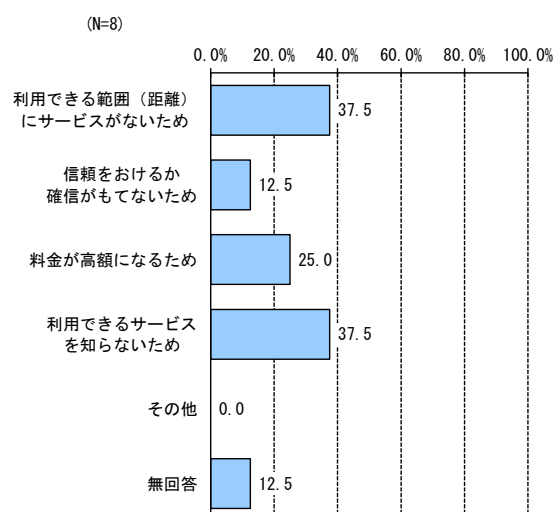
- インフォーマルなサービスを利用したことがない理由について、「利用できる範囲（距離）にサービスがないため」が 50.0%で最も多く、次いで「信頼をおけるか確信がもてないため」「利用できるサービスを知らないため」が 25.0%、「料金が高額になるため」が 12.5%となっています。
- 前回調査と比べると、「利用できる範囲（距離）にサービスがないため」「信頼をおけるか確信がもてないため」がそれぞれ 12.5 ポイント多く、「料金が高額になるため」「利用できるサービスを知らないため」がそれぞれ 12.5 ポイント少なくなっています。

【インフォーマルなサービスを利用したことがない理由 (MA)】

〔今回調査 (R8 年度)〕



〔前回調査 (R5 年度)〕

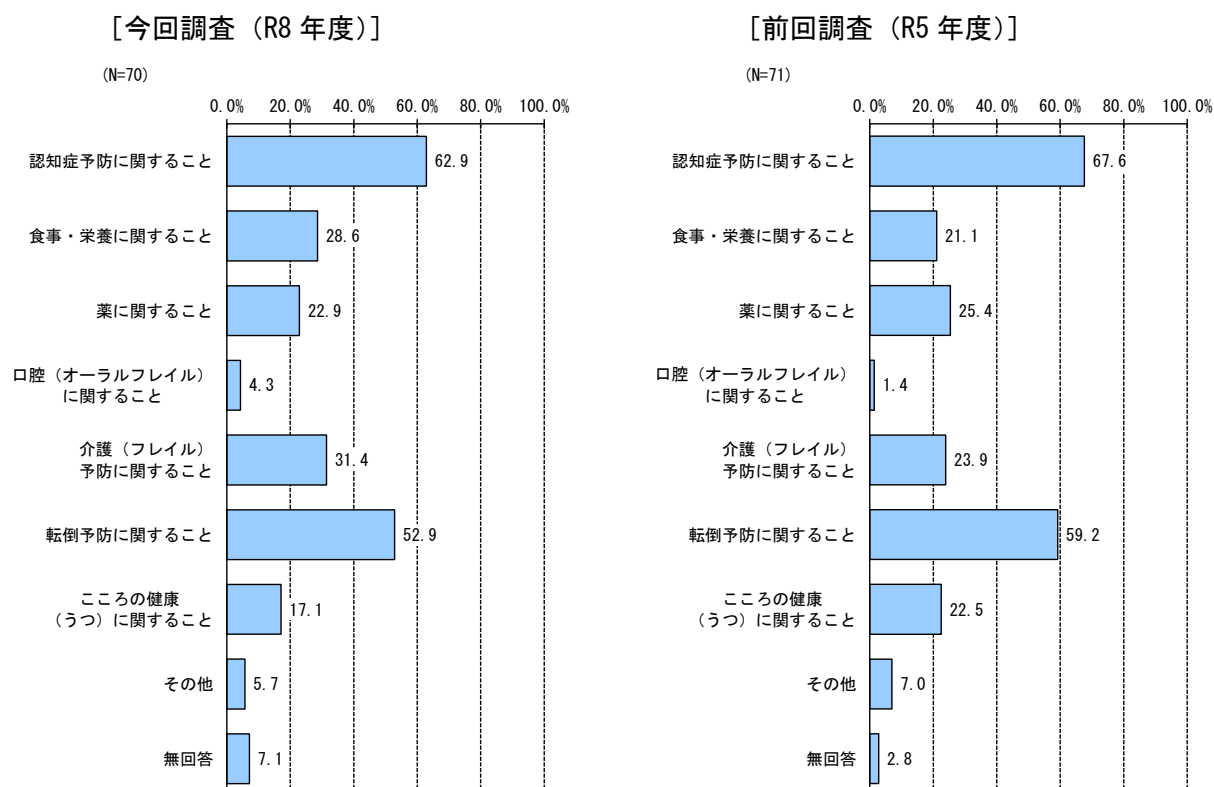


(5) 利用者が知りたいと感じていること

- 問 16 利用者が知りたいと感じていることについて、ニーズが高いものはどれですか。
(あてはまるものすべてを選択)

- 利用者が知りたいことについて、「認知症予防に関すること」が 62.9%で最も多く、次いで「転倒予防に関すること」が 52.9%、「介護（フレイル）予防に関すること」が 31.4%となっています。
- 前回調査と比べると、「食事・栄養に関すること」「介護（フレイル）予防に関すること」がそれぞれ 7.5 ポイント多く、「転倒予防に関すること」が 6.3 ポイント少なくなっています。

【利用者が知りたいこと（MA）】



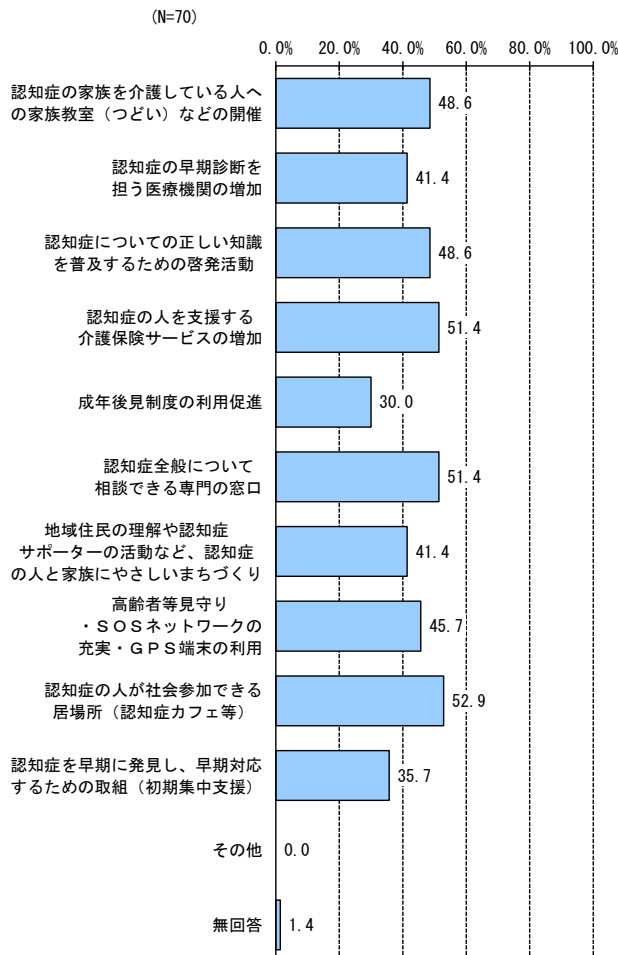
(6) 認知症高齢者への支援

- 問 17 認知症高齢者への支援に必要なことはどのようなことだと考えますか。
(あてはまるものすべてを選択)

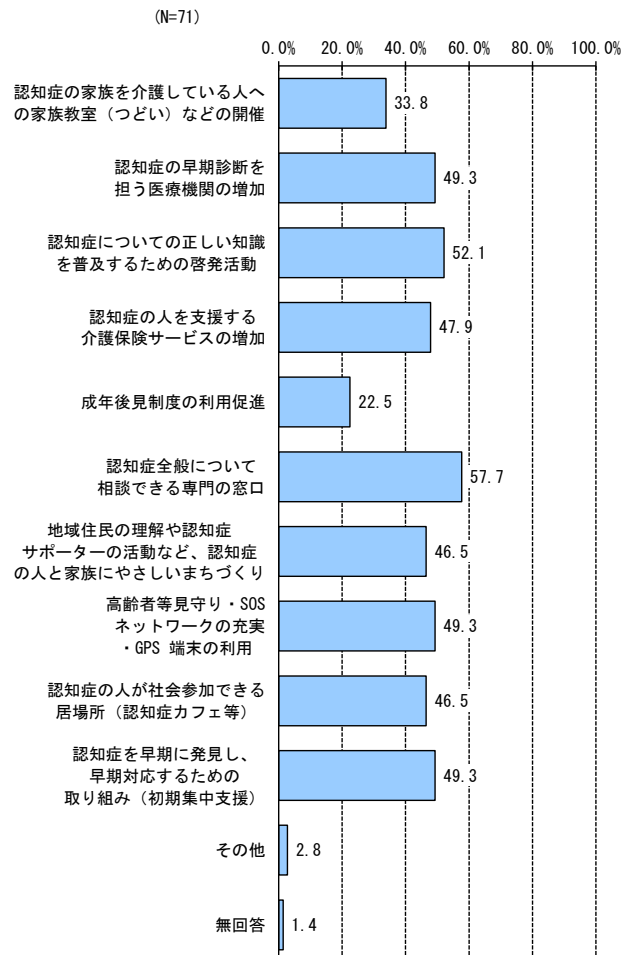
- 認知症高齢者への必要な支援について、「認知症の人が社会参加できる居場所（認知症カフェ等）」が 52.9%で最も多く、次いで「認知症の人を支援する介護保険サービスの増加」「認知症全般について相談できる専門の窓口」が 51.4%、「認知症の家族を介護している人への家族教室（つどい）などの開催」「認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動」が 48.6%となっています。
- 前回調査と比べると、「認知症の家族を介護している人への家族教室（つどい）などの開催」が 14.8 ポイント多く、「認知症を早期に発見し、早期対応するための取組（初期集中支援）」が 13.6 ポイント、「認知症の早期診断を担う医療機関の増加」が 7.9 ポイント少なくなっています。

【認知症高齢者への必要な支援（MA）】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕

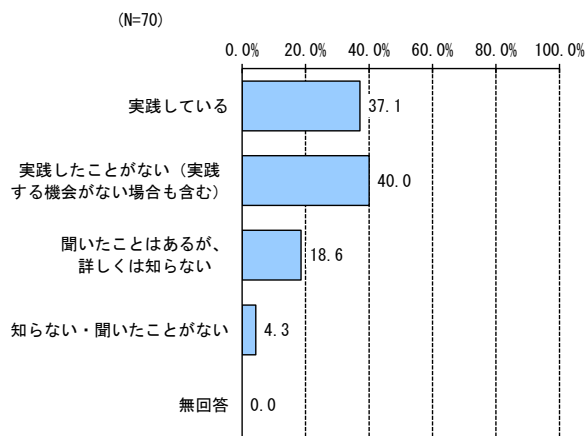


(7) ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組状況

- 問 18 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組状況についてお答えください。
（1つを選択）

○ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組状況について、「実践したことがない（実践する機会がない場合も含む）」が40.0%で最も多く、次いで「実践している」が37.1%、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が18.6%となっています。

【 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組状況】



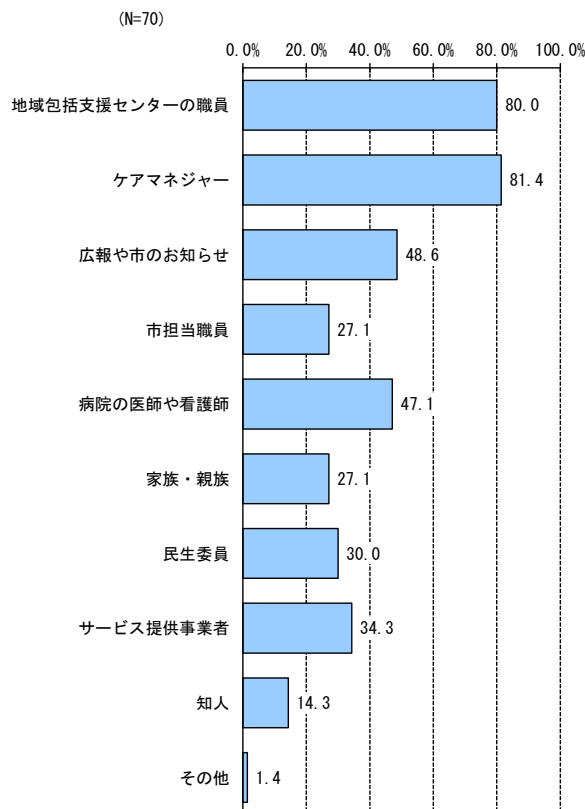
(8) 利用者にとってわかりやすい情報の入手方法

- 問 19 高齢者福祉や介護保険に関する情報の入手方法は、次のどれ（だれ）が利用者にとってわかりやすいと思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

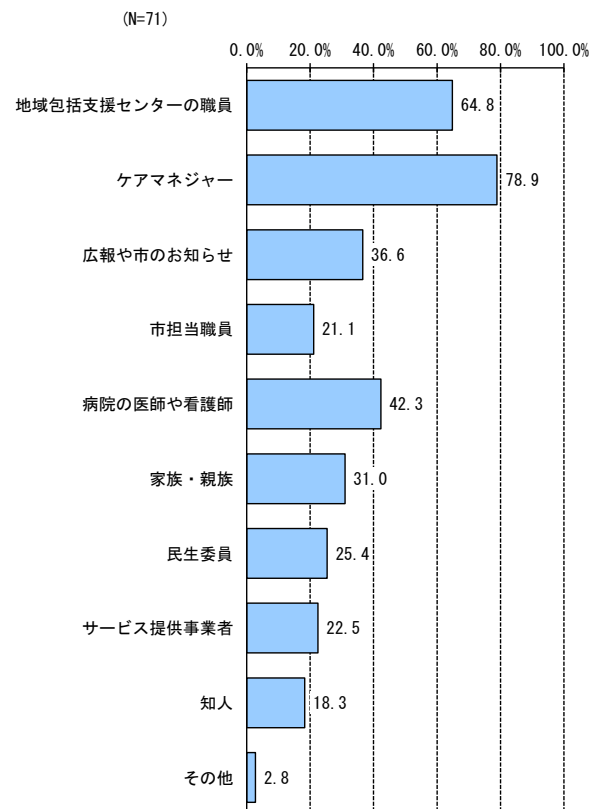
- 利用者にとってわかりやすい情報の入手方法について、「ケアマネジャー」が 81.4%で最も多く、次いで「地域包括支援センターの職員」が 80.0%、「広報や市のお知らせ」が 48.6%となっています。
- 前回調査と比べると、「地域包括支援センターの職員」が 15.2 ポイント、「広報や市のお知らせ」が 12.0 ポイント、「サービス提供事業者」が 11.8 ポイント多くなっています。

【利用者にとってわかりやすい情報の入手方法（MA）】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



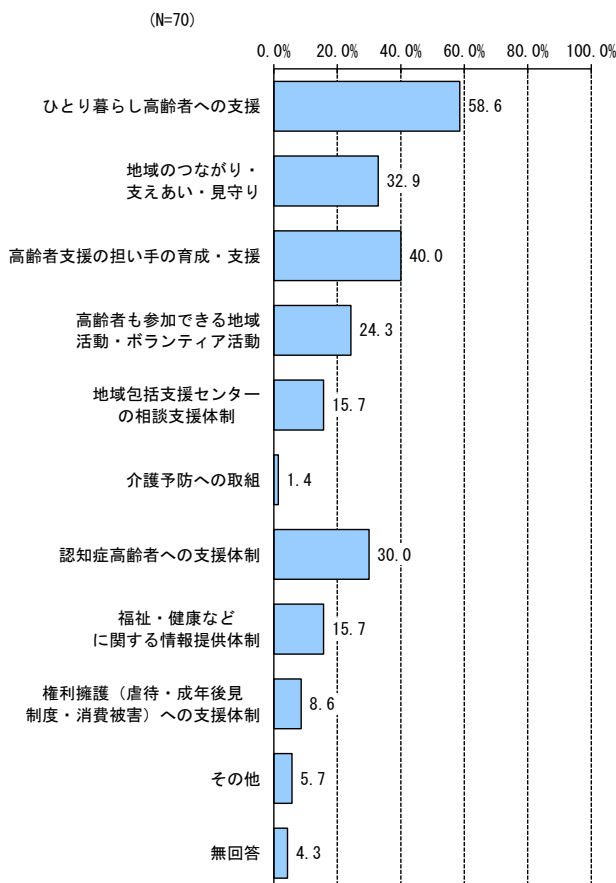
(9) 市の高齢者支援について

●問 20 ケアマネジャーの立場からみて、三田市の高齢者に対する支援について、不足していると感じているものは何ですか。（3つまで選択）

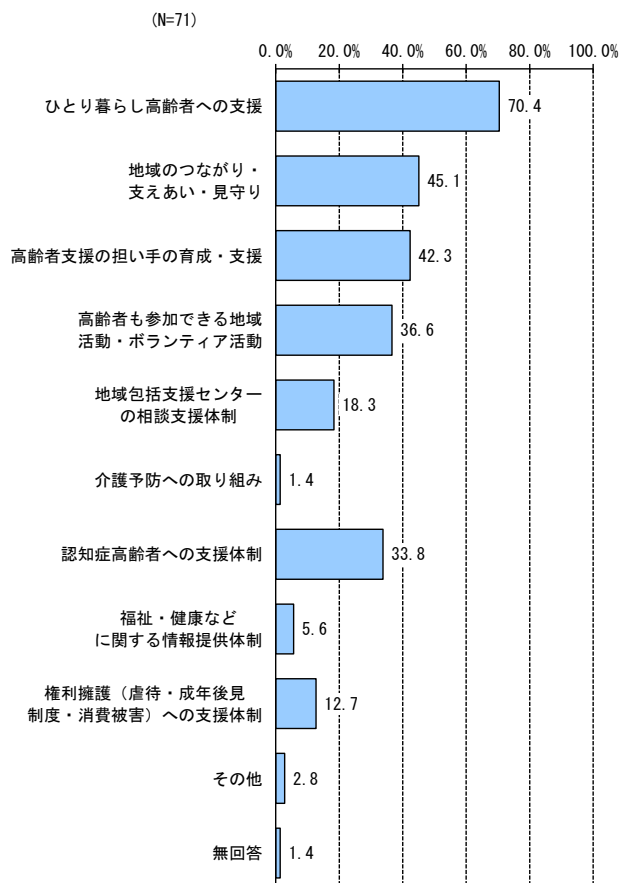
- 不足している市の高齢者支援について、「ひとり暮らし高齢者への支援」が 58.6%で最も多く、次いで「高齢者支援の担い手の育成・支援」が 40.0%、「地域のつながり・支えあい・見守り」が 32.9%となっています。
- 前回調査と比べると、「福祉・健康などに関する情報提供体制」が 10.1 ポイント多く、「高齢者も参加できる地域活動・ボランティア活動」が 12.3 ポイント、「地域のつながり・支えあい・見守り」が 12.2 ポイント、「ひとり暮らし高齢者への支援」が 11.8 ポイント少なくなっています。

【不足している市の高齢者支援（3LA）】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R5 年度）〕



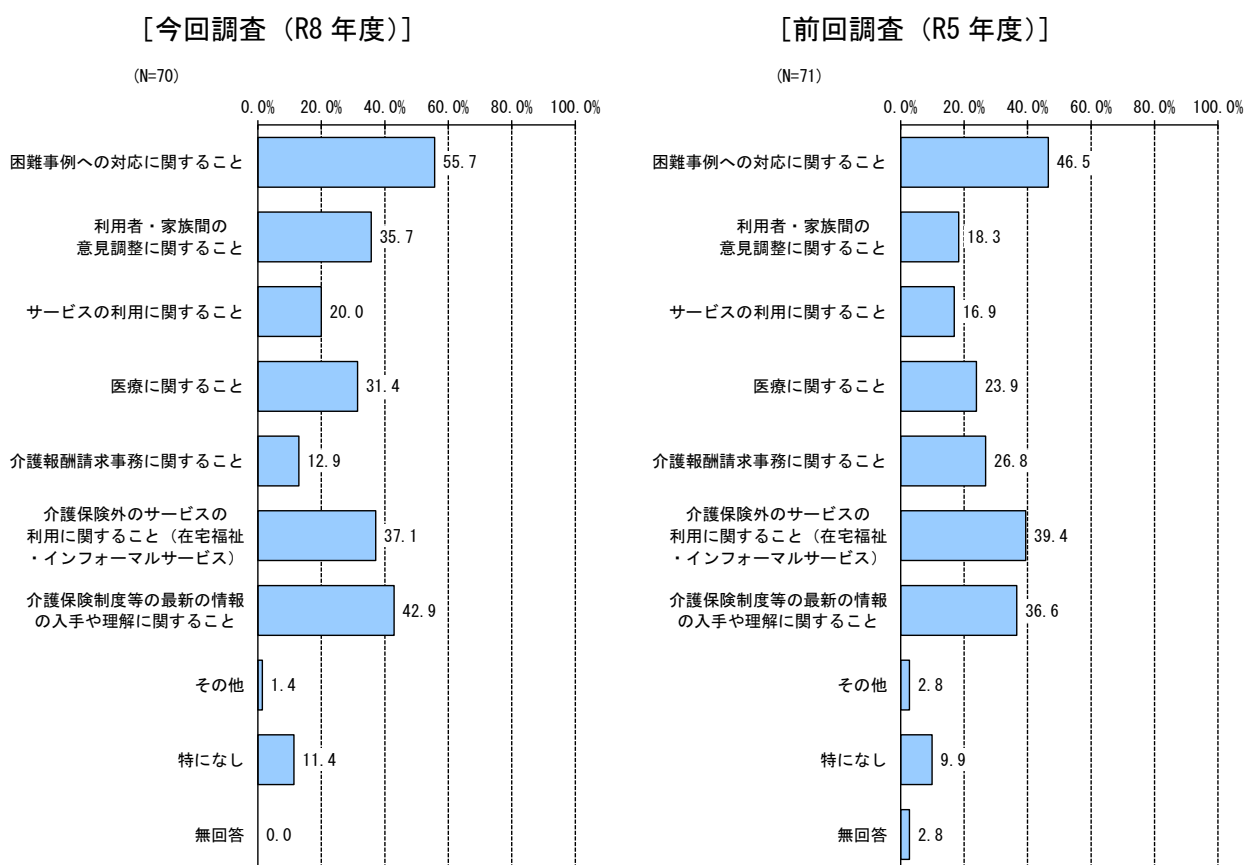
5. 各所との連携について

(1) わからないことや困ったこと

●問 21 業務上、わからないことや困ったことは何ですか。（あてはまるものすべてを選択）

- 業務上わからないことや困ったことについて、「困難事例への対応に関すること」が 55.7% で最も多く、次いで「介護保険制度等の最新の情報の入手や理解に関すること」が 42.9%、「介護保険外のサービスの利用に関すること（在宅福祉・インフォーマルサービス）」が 37.1%となっています。
- 前回調査と比べると、「利用者・家族間の意見調整に関すること」が 17.4 ポイント、「困難事例への対応に関すること」が 9.2 ポイント多く、「介護報酬請求事務に関すること」が 13.9 ポイント少なくなっています。

【業務上わからないことや困ったこと（MA）】



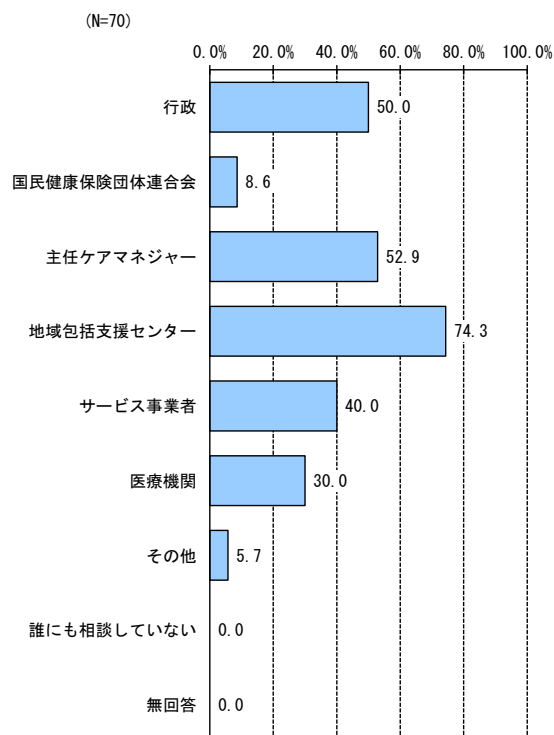
●問 22 わからないことや困ったことがあったとき、誰に相談していますか。

(あてはまるものすべてを選択)

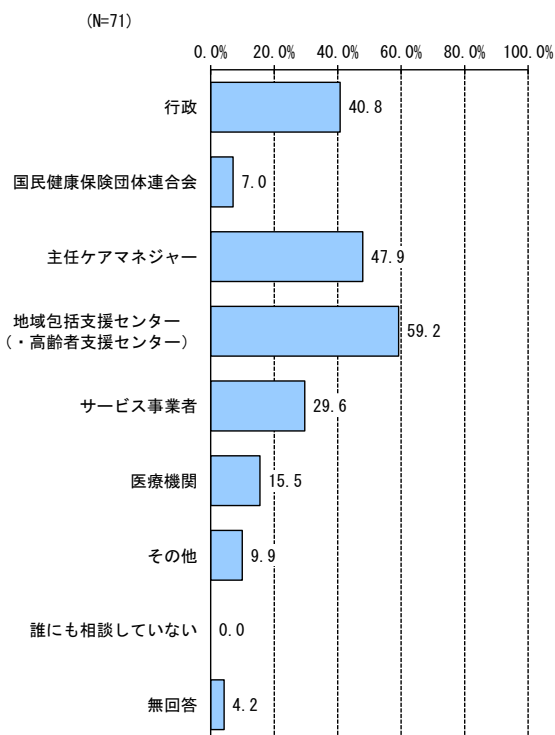
- わからないことや困ったことの相談先について、「地域包括支援センター」が 74.3%で最も多く、次いで「主任ケアマネジャー」が 52.9%、「行政」が 50.0%となっています。
- 前回調査と比べると、「地域包括支援センター」が 15.1 ポイント、「医療機関」が 14.5 ポイント、「サービス事業者」が 10.4 ポイント多くなっています。

【わからないことや困ったことの相談先 (MA)】

〔今回調査 (R8 年度)〕



〔前回調査 (R5 年度)〕



(2) 各所との連携

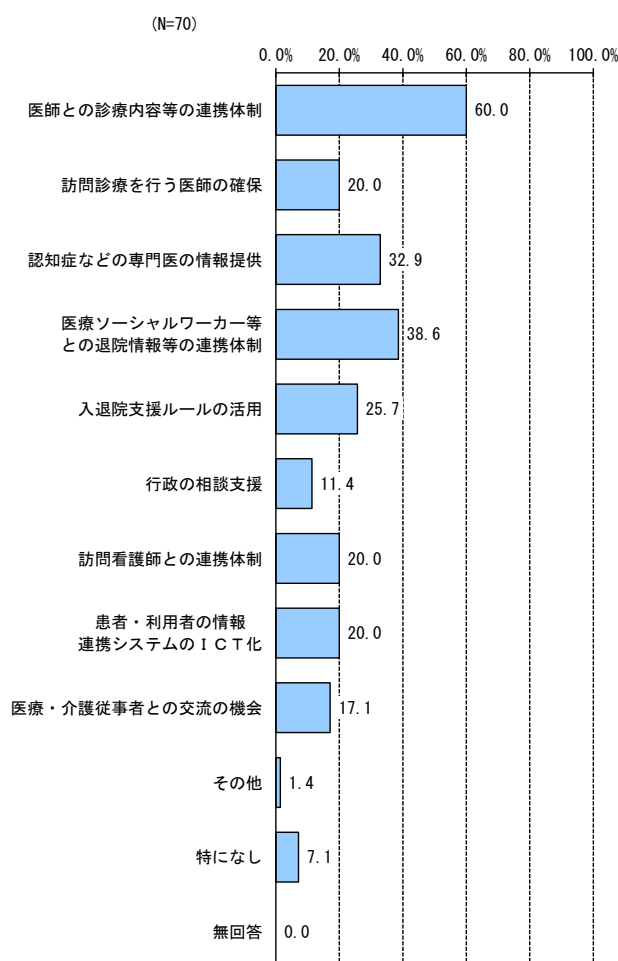
① 医療との連携

- 問 23 あなたは医療との連携を行う上でどのような点が課題だと思いますか。
(あてはまるものすべてを選択)

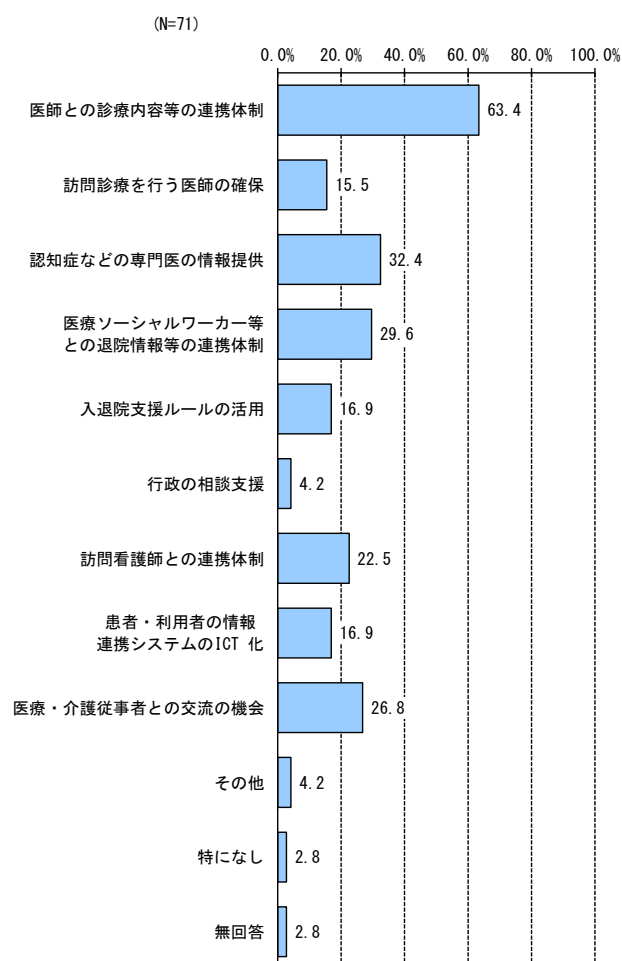
- 医療との連携を行う上での課題について、「医師との診療内容等の連携体制」が 60.0%で最も多く、次いで「医療ソーシャルワーカー等との退院情報等の連携体制」が 38.6%、「認知症などの専門医の情報提供」が 32.9%となっています。
- 前回調査と比べると、「医療ソーシャルワーカー等との退院情報等の連携体制」が 9.0 ポイント、「入退院支援ルールを活用」が 8.8 ポイント多く、「医療・介護従事者との交流の機会」が 9.7 ポイント少なくなっています。

【医療との連携を行う上での課題 (MA)】

〔今回調査 (R8 年度)〕



〔前回調査 (R5 年度)〕

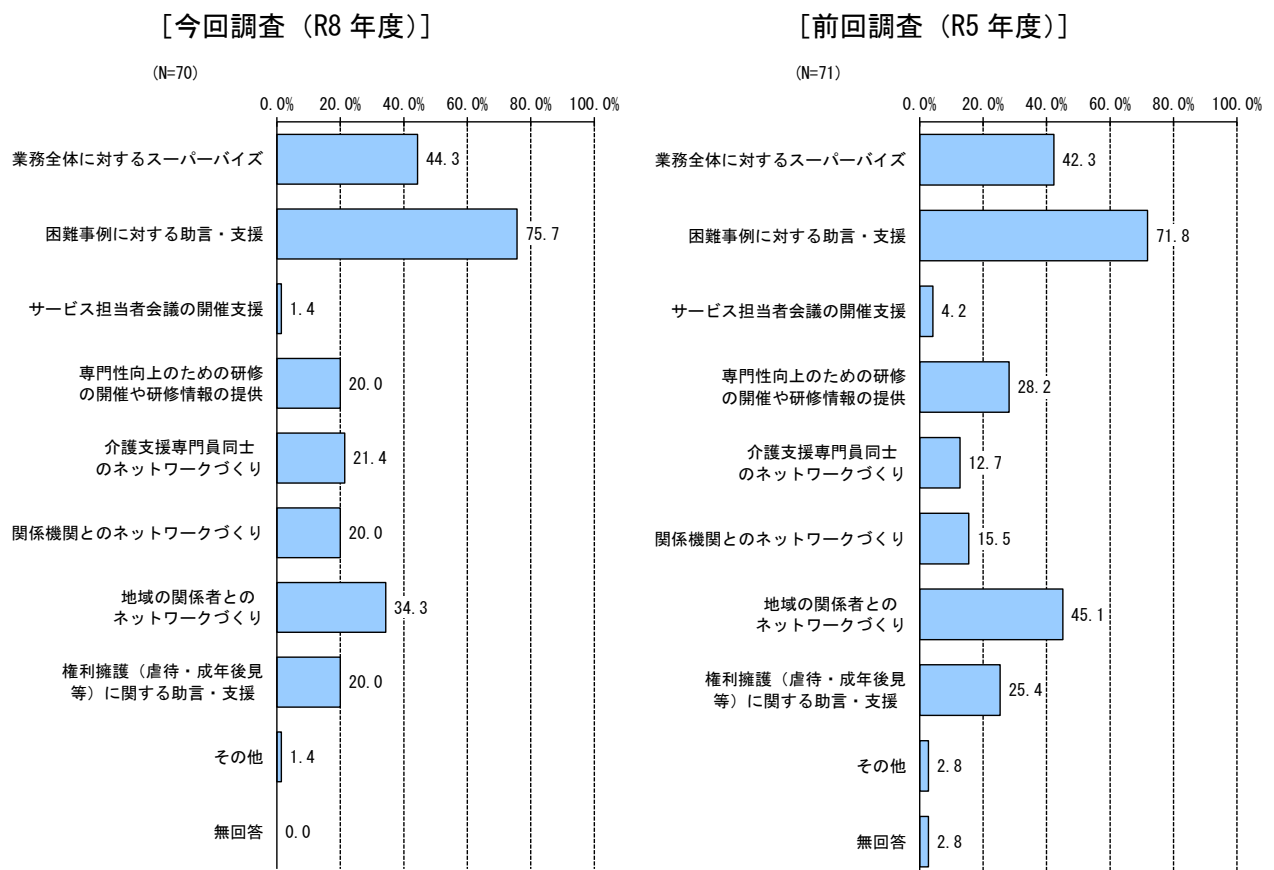


② 地域包括支援センターとの連携

●問 24 地域包括支援センターにどのような役割を求めていますか。（3つまで選択）

- 地域包括支援センターに求めている役割について、「困難事例に対する助言・支援」が 75.7% で最も多く、次いで「業務全体に対するスーパーバイズ」が 44.3%、「地域の関係者とのネットワークづくり」が 34.3%となっています。
- 前回調査と比べると、「介護支援専門員同士のネットワークづくり」が 8.7 ポイント多く、「地域の関係者とのネットワークづくり」が 10.8 ポイント、「専門性向上のための研修の開催や研修情報の提供」が 8.2 ポイント少なくなっています。

【地域包括支援センターに求めている役割（3LA）】



③ 市との連携

- 問 25 ケアマネジャーの立場から今後、市にどのような役割を求めていますか。
(3つまで選択)

- 市に求めている役割について、「相談機能の充実」が 47.1%で最も多く、次いで「処遇困難事例への対応の支援」が 44.3%、「サービス基盤の充実」が 41.4%となっています。
- 前回調査と比べると、「地域のネットワークづくり」が 6.0 ポイント多く、「シニア（老人）クラブ・趣味のグループなどの紹介・相談」が 7.0 ポイント、「医療との連携強化対策」が 6.8 ポイント少なくなっています。

【市に求めている役割（3LA）】

